

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島												
1	シミ	シミ	セイヨウシミ	<i>Lepisma saccharina</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島	本等の糊やその他多糖類・澱粉を含む物質を食べる害虫	(2), (4)	○						区分外		
2			マダラシミ	<i>Thermobia domestica</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、魚釣島、北小島、南小島	食料品を食害する害虫	(2), (4), (163)	○						区分外		
3	トンボ	エゾトンボ	オオヤマトンボ	<i>Epophthalmia elegans elegans</i>	○		○	○	沖縄島、伊是名島、久米島、粟国島、池間島、石垣島、西表島、与那国島	1967年に初めて石垣島で確認されて以降、主要島嶼に分布を広げた。背景には、離島振興策によるダムまたは大規模貯水池が作られ、産卵場所が確保されたため定着したと考えられている。	(2), (101), (102), (126)	○						区分外		
4		トンボ	アオビタイトンボ	<i>Brachydiplax chalybea flavovittata</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、小浜島、西表島	従来は北大東島と南大東島に分布していたが、1977年以降に分布を拡大している。人為による開放水面の増加が定着の要因として挙げられている。	(2), (101), (102), (131), (165)	○			島嶼間移動			区分外		
5			ヒメキトンボ	<i>Brachythemis contaminata</i>			(○)	○	宮古島、池間島、石垣島、小浜島、西表島、新城島、与那国島	1976年に石垣島、1983年に西表島で採集されて以降、両島で定着。	(2), (101), (102)	○						区分外		
6			オオキイトンボ	<i>Hydrobasileus croceus</i>	○			○	沖縄島、久米島、渡嘉敷島、石垣島、西表島	1978年に沖縄島、1982年に石垣島、1973年に西表島から記録されて以降、これらの島々で定着。	(2), (101), (102)	○						区分外		
7			ウミアカトンボ	<i>Macrodiplax cora</i>	(○)	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、池間島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	宮古島と南大東島では定着。石垣島では繁殖が確認されているが、一時的な定着と絶滅を繰り返している可能性もある。	(2), (101), (102)	○						区分外		
8			コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	(○)			○	久米島、石垣島、小浜島、西表島	1983年に石垣島、1987年に西表島で採集されて以降、両島で定着。	(2), (101), (102)	○						区分外		
9			スナアカネ	<i>Sympetrum fonscolombei</i>	(○)		(○)	○	沖縄島、久米島、粟国島、宮古島、石垣島	近年において、石垣島で複数回の繁殖が確認されている。	(2), (101), (102), (124), (126)	○						区分外		
10			ベニトンボ	<i>Trithemis aurora</i>	○	○	○	○	伊平屋島、沖縄島、津堅島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、南大東島	1981年に石垣島で採集されて以降、急速に分布を拡大した。人為による開放水面の増加が定着の要因として挙げられている。	(2), (101), (102), (127), (165)	○						区分外		
11			コモンヒメハネビロトンボ	<i>Tramea transmarina euryale</i>	○	(○)	(○)	(○)	沖縄島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、伊良部島、下地島、石垣島、黒島、西表島、北大東島、南大東島	沖縄島と久米島では定着	(2), (101), (102), (125), (128), (131)	○						区分外		
12			コフキオオメトンボ	<i>Zyxsomma obtusum</i>				○	西表島、波照間島、黒島、北大東島	従来は南大東島に分布していたが、1996年以降に八重山諸島で記録され、西表島では定着している。	(2), (101), (102)	○			島嶼間移動			区分外		
13	ゴキブリ	チャバネゴキブリ	チャバネゴキブリ	<i>Blattella germanica</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、南大東島	衛生害虫	(2), (4), (75), (161)	○					●	区分外		
14			チャオビゴキブリ	<i>Supella longipalpa</i>	○				沖縄島	衛生害虫。家屋内に生息する。アフリカ原産で奴隷船によって広がったと考えられている。	(4), (92), (161)	○						区分外		
15		ゴキブリ	イエゴキブリ	<i>Neostylopyga rhombifolia</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、波照間島、南大東島	衛生害虫 1939年以前に侵入	(1), (2), (4), (22), (161)	○						区分外		
16			ワモンゴキブリ	<i>Periplaneta americana</i>	○	○	○	○	伊平屋島、野南島、沖縄島、浜比嘉島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、久米島、宮古島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、南大東島	衛生害虫	(2), (4), (19), (74), (75), (161)	○						区分外		
17			コワモンゴキブリ	<i>Periplaneta australasiae</i>	○	○	○	○	伊平屋島、沖縄島、久米島、阿嘉島、慶留間島、宮古島、石垣島、黒島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島	衛生害虫	(2), (4), (19), (73), (74), (75), (161)	○						区分外		
18			トビイロゴキブリ	<i>Periplaneta brunnea</i>	○		○		沖縄島、宮古島	衛生害虫 1945年以後に侵入	(1), (2), (4), (161)	○						区分外		
19			クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	○		(○)	(○)	沖縄島、宮古島?、石垣島?、西表島?	衛生害虫。宮古島、石垣島、西表島の分布は疑わしいとされている。	(2), (4), (161)	○						区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国に生息する外来種リスト	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	その他情報			沖縄県における区分						
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										島名	文献	定着状況		我が国に生息する外来種リスト	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島																
20		ハイイロゴキブリ	ハイイロゴキブリ	<i>Nauphoeta cinerea</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、南大東島	衛生害虫 1945年以後に侵入	(1), (2), (4), (161)	○						区分外						
21		オガサワラゴキブリ	オガサワラゴキブリ	<i>Pycnoscelus surinamensis</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島	島名欄の記録は、リュウキュウゴキブリ(<i>P. indicus</i>)と混在している。両種は形態的に区別ができない。沖縄島では、オガサワラゴキブリの生息が確認されている。	(2), (4), (74), (161)	○						区分外						
22		ムカシゴキブリ	ツチカメゴキブリ	<i>Holocompsa debilis</i>	(○)				沖縄島	近年の採集記録は得られていない。	(161)	△						区分外						
23	シロアリ	ミゾガシラシロアリ	イエシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i>	○		○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、伊江島、屋我地島、水納島、瀬底島、伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島、津堅島、久高島、奥武島(南城市)、神山島、渡嘉敷島、座間味島、慶留間島、久米島、宮古島、大神島、池間島、伊良部島、下地島、来間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島	乾材害虫。 外来種とされているが、近年の分子系統研究や好白蟻性動物の共存から、中国～台湾～日本西南部のは自然分布であるとの報告がある。	(2), (4), (161), (163)	○				● ●	区分外							
24		レイビシロアリ	ハワイシロアリ	<i>Incisitermes immigrans</i>		○			南大東島	野外の枯木にも生息	(2), (3), (161)	○						区分外						
25			アメリカカンザイシロアリ	<i>Incisitermes minor</i>		○			沖縄島	乾材害虫。アメリカから輸入した家具類や梱包材が発生源。	(3), (4), (161)	○						区分外						
26	バッタ	キリギリス	ヒガシキリギリス(?)	<i>Gampsocleis mikado</i> (?)	○				沖縄島	本土産キリギリスによる交雑が懸念されている。	(51)	○		国内移動				区分外						
27		コオロギ	カマドコオロギ	<i>Gryllobates sigillatus</i>	○	○	○	○	沖縄島、屋我地島、粟国島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島	市街地にも普通に生息する。	(2), (4), (51), (161)	○						区分外						
28		マツムシ	インドカンタン(タイワンカンタン)	<i>Oecanthus indicus</i>			○	○	宮古島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島	イネ科植物が茂った乾いた草地に生息。埋立地等に新しくきた草原にもよく見られる。	(2), (4), (51)	○						区分外						
29	バッタ	ヒバリモドキ	タイワンカヤヒバリ(ネッタカヤヒバリ)	<i>Sivistella henryi</i>	○				沖縄島	1990年代半ばより沖縄島北部を中心に普通に見られるようになった。 自然分布: 石垣島、西表島、与那国島	(51), (52)	○		島嶼間移動				区分外						
30		ヒシバッタ	スナグヒシバッタ	<i>Thoradonta</i> sp.	○				沖縄島	外来種の可能性があるとされている。	(161)	○						区分外						
31	ナナフシ	コバナナフシ	トゲバナナフシ	<i>Neohirasea japonica</i>	○				沖縄島	観葉植物の害虫であり、本土から観葉植物と共に移入したとされている。1994年に初確認。	(1), (2), (4), (161)	○		国内移動				区分外						
32	チャテムシ	コナチャテムシ	ヒラタチャテムシ	<i>Liposcelis bostrychophilus</i>	○				沖縄島	食品害虫	(4), (156)	○						区分外						
33			カツブシチャテムシ	<i>Liposcelis entomophilus</i>	○				沖縄島	乾燥食品、書籍、標本等を食害	(4), (155)	○						区分外						
34			コチャテムシ	<i>Liposcelis simulans</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島	食品害虫	(4), (155)	○						区分外						
35	アザミウマ	シマアザミウマ	アリガタシマアザミウマ	<i>Franklinothrips vespiformis</i>	○		○		沖縄島、伊江島、久米島、宮古島	スリップス、ナミハダニ、シルバーリーフコナジラミ、マメハモグリバエ(を捕食)	(1), (2), (4)	○						区分外						
36		アザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis</i>	(○)				沖縄島(駆除により絶滅)	カンキツ類、キク、バラ、キャベツ等の害虫	(1), (4)	△				●	区分外							
37			クロトンアザミウマ	<i>Heliothrips haemorrhoidalis</i>			○		石垣島等	花卉・果樹・庭木の害虫	(2), (4), (78), (89)	○						区分外						
38			トラフアザミウマ	<i>Hydatothrips (Neohydatothrips) pseudoannulipes</i>	○				沖縄島	マリーゴールドの害虫	(3)	○						区分外						
39			アカオビアザミウマ	<i>Selenothrips rubrocinctus</i>	○				沖縄島	野菜、果樹、花卉、マンゴーの害虫	(1), (2), (4)	○						区分外						
40			ハナアザミウマ	<i>Thrips hawaiiensis</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島	イチジク、カンキツ類等の害虫	(2), (4), (176)	○						区分外						
41			ミナミキイロアザミウマ	<i>Thrips palmi Karny</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島	ウリ類、ナス、ピーマン、シクラメン、スイカ等の害虫	(1), (2), (3), (4)	○				●	区分外							
42			グラジオラスアザミウマ	<i>Thrips simplex</i>	○				沖縄島等	グラジオラスの害虫	(1), (3), (4)	○						区分外						
43			ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島	ネギ類の害虫	(2), (4)	○						区分外						

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
68			モモタマナカタカイガラムシ (ニセオリーブカタカイガラ)	<i>Saissetia miranda</i>	○			沖縄島	モモタマナ等の害虫	(3), (64)	○						区分外		
69	ヨコバ イ	マルカイガ ラムシ	シュロマルカイ ガラムシ	<i>Abgrallaspis cyanophylli</i>	○		○	沖縄島、宮古島、石垣 島、八重山諸島	果樹、観葉植物の害虫	(3), (4), (176)	○						区分外		
70			ハワイカキカイ ガラムシ	<i>Andaspis hawaiiensis</i>	○		○	沖縄島、石垣島			(2), (4)	○						区分外	
71			アカマルカイガ ラムシ	<i>Aonidiella aurantii</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島、西表島			(2), (4)	○					区分外	
72			キマルカイガ ラムシ	<i>Aonidiella citrina</i>	-	-	-	-	分布詳細不明			(2), (4)	○						区分外
73			オスベッキー マルカイガラ ムシ	<i>Aonidiella orientalis</i>	○				沖縄島	マンゴー、グワバ、パパイヤ、観 葉植物の害虫		(2), (4)	○						区分外
74			クサギウスマ ルカイガラ ムシ	<i>Aspidiotus excisus</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表 島	多食性		(2), (4)	○						区分外
75			マンゴーシロ カイガラムシ	<i>Aulacaspis tubercularis</i>	○		○		沖縄島、久米島、宮古 島等	マンゴーの害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外
76			オンシツマル カイガラムシ	<i>Chrysomphalus dictiospermi</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島、西表島	観葉植物の害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外
77			アカホシマル カイガラムシ	<i>Chrysomphalus aonidum</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表 島	熱帯果樹、観葉植物の害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外
78			ランシロカイガ ラムシ	<i>Diaspis boisduvalii</i>	○				沖縄島	カトレア、他ラン等の害虫		(1), (3), (4)	○						区分外
79	アナナスシロ カイガラムシ	<i>Diaspis bromeliae</i>	○			○	沖縄島、久米島、石垣 島、西表島	パイナップルの害虫		(1), (4)	○						区分外		
80	アナナスクロ ホシカイガラ ムシ	<i>Gymnaspis aechmeae</i>	○				沖縄島			(2), (4)	○						区分外		
81	カワムグリカイ ガラムシ	<i>Howardia biclavis</i>		○	○		宮古島、南大東島	多食性の害虫。野生植物にも寄 生する。		(3)	○						区分外		
82	カキノキカキ カイガラムシ	<i>Lepidosaphescompressi</i>	○			○	沖縄島、石垣島	ビヤクシン、ヤマモモの害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外		
83	ミカンカキ カイガラムシ	<i>Lepidosaphes corni</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島、西表島、南大東島	カンキツ類等の害虫		(2), (3), (4)	○						区分外		
84	ハワードシロ ナガカイガラ ムシ	<i>Kuwanaspis howardi</i>	○				沖縄島			(2), (4)	○						区分外		
85	パイナップル クマルカイガ ラムシ	<i>Melanaspis bromeliae</i>	○			○	沖縄島、久米島、石垣 島	パイナップルの害虫		(1), (2), (3), (4), (65)	○						区分外		
86	イチジクマル カイガラムシ	<i>Morganella longispina</i>	○				沖縄島等	熱帯果樹等の害虫。多食性。		(2), (3), (4)	○						区分外		
87	ヒメクロカイ ガラムシ	<i>Parlatoria ziziphi</i>	○			○	沖縄島、久米島、西表 島	カンキツ類の害虫		(2), (3), (4)	○						区分外		
88	ハイビスカス シロカイガラ ムシ	<i>Pinaspis hibisci</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島	ハイビスカス、フヨウの害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外		
89	リュウガン コノハカイガ ラムシ	<i>Thysanoflorinia nephelii</i>	○			○	沖縄島、久米島、石垣 島	レイシ、リュウガンの害虫		(2), (3), (4)	○						区分外		
90	ヤブネカイガ ラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i>	(○)				沖縄島	カンキツ類の害虫。絶滅(?)		(1), (2), (3), (4)	△					●	区分外		
91	ワタフキ カイガラムシ	イセリアカイ ガラムシ	<i>Icerya purchasi</i>	○	○	○	沖縄島、石垣島、南大 東島等	カンキツ類、モクマオウ他の害 虫 多食性。		(1), (2), (4), (90)	○						区分外		
92	エジプトワタ フキカイガラ ムシ	<i>Icerya aegyptiaca</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、八重 山諸島	果樹、植木、ガジュマル等の害 虫		(3), (66)	○						区分外		
93	キイロワタフ キカイガラ ムシ	<i>Icerya sevcellarum</i>	○			○	沖縄島、石垣島	果樹、植木の害虫		(2), (3), (4)	○						区分外		
94	コナカイガ ラムシ	チガヤシロ カイガラムシ	<i>Antonina graminis</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島、西表島	芝草、サトウキビの害虫		(2), (3), (4)	○					区分外		
95	パイナップル コナカイガラ ムシ	<i>Dysmicoccus brevipes</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古 島、石垣島、西表島	パイナップル、サトウキビの害虫		(1), (2), (3), (4)	○						区分外		
96	バナナコナ カイガラムシ	<i>Dysmicoccus neobrevipes</i>				○	石垣島	バナナ等Musa属植物、マサキ から確認。		(16)	○						区分外		
97	フタスジコ ナカイガラ ムシ	<i>Ferrisia virgata</i>	○		○		沖縄島、宮古島	熱帯果樹、植木の害虫		(2), (3)	○						区分外		
98	ワタコナ カイガラムシ	<i>Macronellicoccus hirsutus</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣 島等	ハイビスカス、マンゴー等の害 虫		(2), (3)	○						区分外		
99	タマコナ カイガラムシ	<i>Nipaecoccus viridis</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古 島、石垣島、西表島	熱帯果樹、植木の害虫		(2), (3)	○						区分外		
100	マデイラコ ナカイガラ ムシ(メ キシココ ナカイガ ラムシ)	<i>Phenacoccus madeirensis</i> Gre en	○		○		沖縄島、宮古島	カンキツ類、マンゴー、ナス科、 キャベツサバ、キク科、シソ科、 クマツヅラ科等の害虫		(1), (3), (4)	○						区分外		
101	ニセナスコ ナカイガラ ムシ	<i>Phenacoccus defectus</i>	○				沖縄島	ヤナギバルイラソウから確認		(16)	○						区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】											その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島												
102			ヒメナスコナカイガラムシ	<i>Phenacoccus parvus</i>	○				沖縄島	キダチヌホウズキから確認	(16)	○						区分外		
103			クロテンコナカイガラムシ	<i>Phenacoccus solenopsis</i>	○				沖縄島	スイゼンジナ、ヒマワリから確認	(16)	○						区分外		
104			ミカンコナカイガラムシ	<i>Planococcus citri</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、北大東島	熱帯果樹、観葉植物の害虫。多食性。	(2), (3), (4), (90)	○						区分外		
105	カメムシ	グンバイカメムシ	クロサウゲンバイ	<i>Corythucha cydoniae</i>				(○)	石垣島	1973年の確認。定着しているかは不明。	(2), (162)	△						区分外		
106		カスミカメムシ	ヨツボシキノカスミカメ	<i>Fulvius anthocoroides</i>	○			○	沖縄島、石垣島	貯穀害虫(の天敵)。	(2), (4), (162)	○						区分外		
107		ハナカメムシ	タイリクヒメハナカメムシ	<i>Orius strigicollis</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表島	1993年に確認。天敵農業。確実なデータは無いが、侵入・定着したと考えられている。	(2), (162)	○						区分外		
108		トコジラミ	トコジラミ	<i>Cimex lectularius</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	衛生害虫。1860年頃に日本に侵入したと考えられている。ネットイトコジラミ(<i>C. hemipterus</i>)の可能性もある。	(2), (4), (135), (162)	○						区分外		
109		サンガメ	コメグラサンガメ	<i>Amphibolus venator</i>	(○)				沖縄島	1999年に確認。貯穀害虫(の天敵)。野外での生息は未確認。	(3), (4), (162)	△						区分外		
110			ケブカサンガメ	<i>Pergrinator biannulipes</i>	(○)				沖縄島	1999年に確認。貯穀害虫(の天敵)。野外での生息は未確認。	(3), (4), (162)	△						区分外		
111		ナガカメムシ	カンシャコバナナガカメムシ	<i>Caverliussaccharivorus</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、来間島、多良間島、石垣島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島、北小島	サトウキビ、ススキの害虫 1914年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (19), (162), (163)	○					●	区分外		
112		オオホシカメムシ	ヨツモンオオホシカメムシ	<i>Physopelta quadriguttata</i>				(○)	石垣島	1999年に確認。定着しているか不明。	(162)	△						区分外		
113		ホシカメムシ	ハレギアカホシカメムシ	<i>Dysdercus solenis</i>				(○)	石垣島、西表島	1992年に石垣島で確認。定着しているか不明。	(162)	△						区分外		
114			ダイフウシホシケムシ	<i>Melampus faber</i>				(○)	石垣島	1984年に石垣島で確認。定着しているか不明。	(162)	△						区分外		
115		ヘリカメムシ	ヒゲナガヘリカメムシ	<i>Notobius meleagris</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、北大東島、南大東島	竹類の害虫 1982年沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (162)	○						区分外		
116	カメムシ	キンカメムシ	ラデンキンカメムシ	<i>Scutellera amethystina</i>	○				沖縄島	2006年頃から沖縄島で確認。アカギに発生する。本種は自然分布拡大の可能性もある。	(162)	○						区分外		
117		カメムシ	オオアカカメムシ	<i>Catacanthus incarnatus</i>	(○)				沖縄島	定着しているかは不明	(162)	△						区分外		
118			キマダラカメムシ	<i>Erthesina fullo</i>	○			○	沖縄島、石垣島	1783年(江戸後期)に初確認。サクラ類等の広葉樹を食害	(2), (4)	○						区分外		
119			ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>	○			○	沖縄島、慶留間島、久米島、石垣島、西表島	ミカン、ヤマモモ、シマグワの害虫 自然分布: 日本本土	(1), (2)	○		国内移動				区分外		
120	コウチュウ	ハンミョウ	台湾ヤツポシハンミョウ	<i>Cosmodela batesi</i>				○	西表島	2002年の確認以降、西表島内で分布を広げている。	(10), (48)	○						対策種		
121			オキナワハンミョウ	<i>Cicindela chinensis okinawana</i>				○	石垣島	2005年に確認 自然分布: 沖縄島	(55)	○		島嶼間移動				区分外		
122		エンマムシ	クロチビエンマムシ	<i>Carcinops pumilio</i>	○				硫黄島、沖縄島	ハエ類の幼虫の天敵	(2), (4), (78)	○						区分外		
123		クワガタムシ	ヒラタクワガタ(亜種不明)	<i>Lucanidae spp.</i>				○	宮古島	定着している。	(4)	○		国内移動				区分外		
124			外国産クワガタムシ	<i>Lucanidae spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種		●(一部)			予防種		
125			ノコギリクワガタ(原名亜種)	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>	○				沖縄島	定着している。	(4)	○		国内移動				区分外		
126			オオクワガタ(亜種不明)	<i>Dorcus hopei</i>	(○)				沖縄島	2013年に国頭村浜の路上で確認。定着は確認されていない。	(88)	△		国内移動				区分外		
127		タマムシ	ウバタマムシ(基亜種)	<i>Chalcophora japonica japonica</i>				○	南大東島	工事で用いる松杭を介して本土より侵入したと考えられている。	(2), (97)	○		国内移動				区分外		
128			ウバタマムシ(奄美・沖縄亜種)	<i>Chalcophora japonica oshimana</i>				○	宮古島	工事で用いる松杭を介して侵入したと考えられている。 自然分布: 沖縄島、座間味島、阿嘉島、慶留間島	(2), (97)	○		島嶼間移動				区分外		
129			サツマウバタマムシ(基亜種)	<i>Chalcophora yunnana satzuma</i>				○	北大東島	工事で用いる松杭を介して侵入したと考えられている。	(2), (97)	○		国内移動				区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国に及ぼす生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
130			サツマウバタマムシ (沖縄・八重山亜種)	<i>Chalcophora yunnana abnormalis</i>	○				南大東島	工事で用いる松杭を介して侵入したと考えられている。自然分布: 沖縄島、渡嘉敷島、阿嘉島、久米島、宮古島、石垣島、西表島	(2), (97)	○		国内移動				区分外	
131			インドムツボシタマムシ	<i>Crysothrix indica</i>	○				沖縄島	2007年から確認されており、人為的な移入の可能性が指摘されている。	(116)	○						区分外	
132		コガネムシ	ドウガネブイブイ	<i>Anomala cuprea</i>	○				沖縄島	沖縄島で1995年に確認し、分布を拡大。成虫は広葉樹を食べる。自然分布: 日本本土	(1), (2), (4), (94), (140)	○		国内移動				区分外	
133			クロマルコガネ (クロマルカブトムシ)	<i>Alissonotum pauper</i>	○				粟国島	在来の可能性もある。	(2), (4), (78), (94)	○		国内移動				区分外	
134			ヒメホソニセツツマゴソコガネ	<i>Ataenius peregrinator</i>	○				沖縄島	2004年頃に沖縄島中部で確認された。	(93), (109), (133)	○						区分外	
135			ヤエヤマニセツツマゴソコガネ	<i>Ataeniuspicinus</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、多良間島、石垣島、黒島、竹富島、西表島、与那国島、南大東島	2000年頃に石垣島の空港や灯火で見られるようになり、それ以降、急速に分布を拡大している。牛糞に集まる。船舶の灯火による分布拡大の可能性もある。	(107), (108), (109), (118), (133)	○						区分外	
136			アトラスオオカブトムシ	<i>Chalcosoma atlas</i>	(○)				沖縄島	2001年に辺土名(市街地)にて死骸確認。定着は確認されていない。	(87)	△	定着予防外来種					予防種	
137			外国産テナガコガネ属	<i>Cheirutomus spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種			●		予防種	
138			外国産カブトムシ	<i>Dynastinae Gen. spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種					予防種	
139			クモテナガコガネ属	<i>Euchirus spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種			●		予防種	
140			ゴホンツノカブトムシ(?)	<i>Eupatororus sp.</i>	-	-	-	-	詳細不明	2001年に沖縄県南部の民家の灯火に飛来。定着は確認されていない。	(87)	△	定着予防外来種					予防種	
141			セマダラコガネ	<i>Exomala orientalis</i>	○			○	沖縄島、石垣島	2012年に那覇市の公園で発生が確認され、2013年にも発生報告がある。石垣島では2006年に報告がある。国内在来種であるが、海外から侵入した可能性もある	(103), (105)	○		国内移動?				区分外	
142			ガゼラエンマコガネ	<i>Digitonthophagus gazella</i>	○				伊平屋島	糞処理を目的に導入	(4), (93)	○						区分外	
143			ヨツモンエンマコガネ	<i>Onthophagus (Gibbonthophagus) proletarius</i>				○	石垣島	2008年確認。台湾では普通種のため、台湾からの移入と考えられている。	(93), (106), (133)	○						区分外	
144			サイカブト (タイワンカブトムシ)	<i>Oryctes rhinoceros</i>	○	○	○	○	沖縄島、伊江島、古宇利島、水納島、久米島、粟国島、宮古島、多良間島、波照間島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島、魚釣島、久場島	ヤシ類の害虫 1921年に石垣島で初確認。石垣島と沖縄島(1970年代)へは台湾からのヤシ類に付着して持ち込まれ、他の島へは石垣島と沖縄島から苗木とともに伝搬したと推定されている。	(1), (2), (3), (4), (5), (94), (132), (163)	○	その他の定着予防外来種 (外国産カブトムシとして)				重点対策種		
145			マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>				○	石垣島	農業害虫。多食性。	(4), (94)	○		国内移動				区分外	
146			ヒメテナガコガネ属	<i>Propomacrus spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種			●		予防種	
147			オオシマアオハナムグリ(原名亜種)	<i>Protaetia exasperata exasperata</i>				○	小浜島	成虫はシイの樹液や、イジュー・ヤンバルアワブキの花に集まる。自然分布: 奄美諸島	(4), (94)	○						区分外	
148			オキナワアオハナムグリ	<i>Protaetia exasperata satoi</i>				○	石垣島、西表島	自然分布: 沖縄島、伊江島	(4), (94)	○		島嶼間移動				区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
149			ハイイロハナムグリ	<i>Protactia fusca</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島	1993年に石垣島で初確認。幼虫は堆肥で生育	(1), (2), (4), (53), (54), (94), (104)	○						区分外	
150			リュウキュウオオハナムグリ(原名亜種)	<i>Protactia lewisi lewisi</i>			○	○	宮古島、石垣島、西表島	自然分布: 沖縄島、渡嘉敷島、伊平屋島、久米島	(4), (94)	○		島嶼間移動				区分外	
151			サカイシロテンハナムグリ(シロテンハナムグリ台湾亜種)	<i>Protactia orientalis sakaii</i>	○	○	○	○	沖縄島、古宇利島、屋我地島、宮古島、伊良部島、石垣島、大東諸島、北小島	1976年に沖縄島で初確認。在来のハナムグリ類と競合・交雑する可能性	(1), (4), (23), (94), (163)	○			その他の総合対策外来種			対策種	
152			リュウキュウツヤハナムグリ(原名亜種)	<i>Protactia pryeri pryeri</i>				(○)	石垣島	自然分布: 沖縄島、伊平屋島、伊是名島、伊江島、粟国島、渡嘉敷島、久米島	(4), (94)	○		その他の総合対策外来種	島嶼間移動			区分外	
153			カブトムシ(日本亜種)	<i>Trypoxylus dichotoma septentrionalis</i>	○				沖縄島	オキナワカブトムシへの遺伝子汚染	(1), (2), (4), (94)	○		その他の総合対策外来種	国内移動			予防種	
154	コウチュウ	サキシマシロモンサビキコリ	<i>Agrypnus scutellaris hamai</i>	-	-	-	-	-	詳細不明(沖縄島、多良間島、石垣島、西表島、与那国島に分布しているが、移入した島を確定できない)	幼虫が土壤中に生息することから、苗木や農作物等の移動により人為的に分布域を拡大したと考えられている。	(2), (175)	○			島嶼間移動			区分外	
155		ホタル	オオシママドボタル(ヤエヤママドボタル)	<i>Pyrocoelia atripennis</i>	○				沖縄島	自然分布: 石垣島、竹富島、西表島(八重山固有種)	(30), (129)	○			島嶼間移動			重点対策種	
156		カミキリモドキ	ツマグロカミキリモドキ	<i>Nacertes melanula</i>	○				沖縄島	衛生害虫	(4)	○						区分外	
157		コキノコムシ	チャイロコキノコムシ	<i>Typhaea stercorea</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫	(4), (78), (83)	○						区分外	
158		カツオブシムシ	オビヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus fasciatus</i>	○				沖縄島	1980年に沖縄島で初確認。貯穀類害虫	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
159			トビカツオブシムシ	<i>Dermestes ater</i>	○				沖縄島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨、毛皮、動物標本等)	(2), (4), (156)	○						区分外	
160			フイリカツオブシムシ	<i>Dermestes frischii</i>	○				沖縄島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨、毛皮、動物標本等)	(2), (4)	○						区分外	
161			ハラジロカツオブシムシ	<i>Dermestes maculatus</i>	○		○		沖縄島、石垣島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨、毛皮、動物標本等)	(3), (4), (156)	○						区分外	
162		ナガシクイムシ	ホソナガシクイ	<i>Heterostrychus aequalis</i>	○				沖縄島	乾材害虫	(3), (4), (6)	○						区分外	
163			オオナガシクイ	<i>Heterostrychus hamatipennis</i>	○		○		沖縄島、西表島、魚釣島	乾材害虫	(2), (4), (163)	○						区分外	
164			アラゲヒラタキクイムシ	<i>Lyctoxylon dentatum</i>			○		石垣島	乾材害虫	(2), (4)	○						区分外	
165			アフリカヒラタキクイムシ	<i>Lyctus africanus</i>	○				沖縄島	乾材害虫	(173)	○						区分外	
166			ヒラタキクイムシ	<i>Lyctus brunneus</i>	○				沖縄島	乾材害虫。江戸時代末期には既に侵入していたと推定されている。	(2), (3), (4)	○						区分外	
167			ケブトヒラタキクイムシ	<i>Minthea rugicollis</i>	○		○		沖縄島、西表島	乾材害虫	(2), (4)	○						区分外	
168			コナナガシクイ	<i>Rhizophthera dominica</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫	(2), (4)	○						区分外	
169		シバムシ	タバコシバムシ	<i>Lasioderma serricornis</i>	○				沖縄島	乾燥動植物害虫	(2), (4), (156)	○						区分外	
170			ジンサンシバムシ	<i>Siegobium panicum</i>	○				沖縄島	乾燥動植物害虫	(2), (3), (4), (156)	○						区分外	
171		ヒョウホンムシ	ニセセマルヒョウホンムシ	<i>Gibbium aequinoctiale</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	乾燥動植物害虫	(3), (4)	○						区分外	
172		コクヌスト	ホソチビコクヌスト	<i>Lophocateres pusillus</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島	1979年に初確認。貯穀類害虫	(1), (3)	○						区分外	
173			コクヌスト	<i>Tenebroides mauritanicus</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島	貯穀類害虫	(2), (4), (156)	○						区分外	
174		カッコウムシ	アカアシホシカ	<i>Necrobia rufipes</i>	○				沖縄島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨等)	(2), (3), (4), (156)	○						区分外	

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報					備考	文献	定着状況	我が国に生息する外来種リスト	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】											その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名											
175			アカクビホシカムシ	<i>Necrobia ruficolis</i>	○				沖縄島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨等)	(2), (4), (78), (83), (85)	○							区分外	
176			ルリホシカムシ	<i>Necrobia violacea</i>	○				沖縄島	乾燥動物質害虫(煮干し、削り節、干物、魚粕、骨等)	(2), (4), (78)	○							区分外	
177			シロオビカウウムシ	<i>Tarsostenus unvittatus</i>	○				沖縄島	乾材害虫であるキクイムシ類(の天敵)	(2), (4), (78)	○							区分外	
178		ケシクスイ	ウスチャデオケシクスイ	<i>Carpophilus freemani</i>	○	○			沖縄島、南大東島	貯穀類害虫	(2), (4)	○							区分外	
179			クイヤケシクスイ	<i>Carpophilus hemipterus</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、南大東島	乾燥植物害虫(乾燥果実、貯蔵穀物、種子等)	(2), (3), (4), (156)	○							区分外	
180			ニセクイヤケシクスイ	<i>Carpophilus delkeskampii</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表島等	乾燥植物害虫(乾燥果実、貯蔵穀物、種子等)	(3)	○							区分外	
181			ガイマイデオキシクスイ	<i>Carpophilus dimidiatus</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	乾燥植物害虫(干しブドウ、イチジク)琉球に分布するとされるが詳細不明	(2), (4)	○							区分外	
182			クワイロデオキシクスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>				○	多良間島	乾燥植物害虫(乾燥果実、貯蔵穀物、種子等)	(2), (4)	○							区分外	
183			コメノケシクスイ	<i>Carpophilus pilosellus</i>	○			○	沖縄島、西表島	食品害虫	(4), (156)	○							区分外	
184		ネスイムシ	トビロデオネスイ	<i>Monotoma picipes</i>	○				沖縄島	汎世界に分布	(4), (78), (83), (98)	○							区分外	
185			トゲムネデオネスイ	<i>Monotoma spinicollis</i>	○				沖縄島	汎世界に分布。沖縄島では2012年に捕獲記録がある。	(4), (78), (84), (98)	○							区分外	
186		チビヒラタムシ	サビカクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes ferrugineus</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫。汎世界に分布。	(2), (4), (98)	○							区分外	
187			カクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes pusillus</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫。汎世界に分布。	(2), (4), (98), (156)	○							区分外	
188		ホソヒラタムシ	カドコブホソヒラタムシ	<i>Ahasverus advena</i>	○			○	沖縄島、西表島	貯穀類害虫。汎世界に分布。	(4), (99), (156), (157)	○							区分外	
189			モンセマルホソヒラタムシ	<i>Cryptamorpha desjardinsi</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、大東島	汎世界に分布	(2), (4), (99)	○							区分外	
190			チビセマルホソヒラタムシ	<i>Mananus concinnulus</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島	貯穀類害虫。汎世界に分布。	(2), (4), (99)	○							区分外	
191			オオメノコギリヒラタムシ	<i>Oryzaephilus mercator</i>	○				沖縄島	貯穀類、油減量乾物の害虫 1985年沖縄島で初確認 泡盛の原料となるタイ米とともに持ち込まれた可能性がある。	(1), (3), (4), (99)	○							区分外	
192			ノコギリヒラタムシ(ノコギリホソヒラタムシ)	<i>Oryzaephilus surinamensis</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫	(2), (4), (99), (156)	○							区分外	
193			ジャバホソヒラタムシ(ホホビロホソヒラタムシ)	<i>Silvanoprus javanicus</i>				○	宮古島、石垣島、西表島、与那国島		(4), (99)	○							区分外	
194		ゴミシダマシ	カイマイゴミシダマシ	<i>Alphitobius diaperinus</i>	○	○	○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、南大東島	貯穀類害虫 日本へは昭和初期に侵入したと推定されている。	(2), (3), (4), (156), (176)	○							区分外	
195			ヒメゴミシダマシ	<i>Alphitobius laevigatus</i>	○			○	沖縄島、西表島、与那国島	貯穀類害虫	(2), (4)	○							区分外	
196			ムネミソコクスストモドキ	<i>Coelopalorus foveicollis</i>	○			○	沖縄島、石垣島	貯穀類害虫 1973年沖縄島で初確認	(1), (3), (4), (12)	○							区分外	
197			コメノゴミシダマシ	<i>Tenebrio obscurus</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫	(2), (3), (4), (156)	○							区分外	
198	コウチュウ	ゴミシダマシ	チャイロコメノゴミシダマシ	<i>Tenebrio molitor</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫。幼虫は、小鳥、爬虫類等の餌や釣り餌として「ミールワーム」の名で市販されている。	(2), (4)	○							区分外	
199			コクスストモドキ	<i>Tribolium castaneum</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島	貯穀類害虫	(2), (4), (156)	○							区分外	
200			ヒラタクヌストモドキ	<i>Tribolium confusum</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫	(4), (156)	○							区分外	
201			ツヤケシオオゴミシダマシ	<i>Zophobas atratus</i>				○	西表島	幼虫は、小鳥、爬虫類等の餌や釣り餌として「ジャイアントミールワーム」の名で市販されている。	(117)	○							区分外	
202		テントウムシ	アミダテントウ	<i>Amida tricolor</i>				○	石垣島	2015年に報告されている。アオバハゴロモを捕食。侵入経路不明。	(110)	○							区分外	
203			ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohtai</i>	○			○	沖縄島、石垣島	1995年に石垣島で初確認。シバンロマルカイガラムシの天敵。	(1), (3), (4)	○							区分外	
204			カタボシテントウ	<i>Coelophora inaequalis</i>	○			○	沖縄島、浜比嘉島、石垣島	2008年に沖縄島と石垣島で初確認。アブラムシ類の天敵	(14), (35), (68)	○							区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
205			テントウムシの1種 (ミナミダラテントウ)	<i>Epilachna pusillanima</i>			○	石垣島	ウリ科の害虫	(2), (4), (18)	○						区分外		
206			ケブカメツブテントウ	<i>Jawavia limbata</i>	○			沖縄島	1988年に初確認。カイガラムシ類の天敵	(1), (2), (4), (36)	○						区分外		
207			ハイヒロテントウ	<i>Olla v-nigrum</i>	○	○	○	伊是名島、沖縄島、瀬長島、浜比嘉島、渡名喜島、粟国島、久米島、池間島、波照間島、宮古島、伊良部島、石垣島、黒島、鳩間島、波照間島、与那国島、南大東島 等	1987年に沖縄島で初確認。ギンネムキジラミ等のキジラミ類、アブラムシ類の天敵。米軍物資に紛れてハワイかグアム島あたりから持ち込まれたと考えられている。	(1), (2), (3), (4), (26), (34), (35), (38), (40), (111)	○						区分外		
208			<i>Pharoscyrmus taoi</i>	<i>Pharoscyrmus taoi</i>			○	石垣島	2014年に採集されており、台湾から移入した可能性が指摘されている。	(114)	○						区分外		
209			ベダリヤテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>	○			沖縄島	1923~1928年に確認。イセリアカイガラムシの天敵として導入された。	(1), (2), (4)	○						区分外		
210	カミキリムシ	ツヤハダゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora glabripennis</i>			(○)	石垣島	1911年の採集標本であり、これ以降は沖縄県での記録は無い。	(4), (96)	(96)	△				●		区分外		
211			オオシマゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora oshimana ryukyuensis</i>			○	石垣島、西表島	沖縄島の個体群については、在来か移入かは不明	(4), (69), (96)	○						区分外		
212			ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>	○	○		沖縄島、宮古島	MtDNAによると九州地域のゴマダラカミキリと遺伝子が一致しており、柑橘の栽培に伴い移入したと考えられている。宮古島では1999年に確認。	(2), (96), (138)	○		国内移動				区分外		
213			タイワンゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora macularia</i>	○	○	○	沖縄島、宮古島、米間島、石垣島、西表島	沖縄島のタイワンゴマダラカミキリは、台湾に生息するものと遺伝的に違いはなく、島伝いに北上して沖縄島に達したと考えられている。沖縄島へは1980年代末~1990年代初め、宮古諸島へは2004年に確認され、沖縄島からセンダンに付いて侵入したと考えられている。	(96), (139)	○						対策種		
214			ヨナグニゴマダラカミキリ(ヨナグニオアシマゴマダラカミキリ)	<i>Anoplophora ryukyuensis</i>			○	石垣島、西表島	本来は与那国島に生息している。1980年代後半に石垣島に侵入したと考えられている。	(1), (2), (96)	○		島嶼間移動				区分外		
215			オキナワクワカミキリ	<i>Apriona nobuoi</i>			○	宮古島	宮古島で2000年に確認された。沖縄島から緑化樹木とともに運ばれた可能性が指摘されている。自然分布: 沖縄島、渡嘉敷島	(2), (138)	○		島嶼間移動				区分外		
216			クビアカツヤカミキリ(クロジャコウカミキリ)	<i>Aromia bungii</i>	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種			●		予防種		
217			シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i>	(○)			沖縄島	1986年の標本。徳之島から侵入した可能性が指摘されている。定着しているかは不明。	(172)	△		国内移動				区分外		
218			イチジクカミキリ	<i>Batocera rubus</i>	○			沖縄島	イチジク属、インドゴムノキの害虫。1970年代に台湾から苗木とともに移入したと考えられている。	(1), (2), (3), (96)	○		国内移動				区分外		
219			ツシムナクボカミキリ	<i>Cephalallus unicolor</i>		○	○	宮古島、黒島、南大東島	宮古島では1998年に確認。松杭に付いて本土から侵入したと考えられている。	(4), (96), (138), (167)	○		国内移動				区分外		
220			ヤエヤマトラカミキリ	<i>Chlorophorus yayeyamaensis</i>		○		北大東島、南大東島	大東諸島へは沖縄島から持ち込まれた可能性が高いと報告されている。県内分布: 沖縄島、伊計島、久米島、粟国島、宮古島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、北小島	(2), (167)	○		島嶼間移動				区分外		
221			<i>Megasemum asperum</i>	<i>Megasemum asperum</i>	(○)			沖縄島	1987年に名護市で捕獲。北米原産であり、米軍物資の梱包材等から発生したと推定されている。	(56)	△						区分外		
222			チャゴマフカミキリ	<i>Mesosa perplexa</i>	○			沖縄島	自然分布: 魚釣島。台湾では個体数が多い。	(2), (4), (96)	○						区分外		

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					移入・確認地域										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					【○:定着、(○):定着していない・不明】	沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島										
223			マツノマダラカミキリ	<i>Monochamus alternatus</i>	○		○		○	沖縄島、宮古島、伊良部島、西表島等	マツの害虫(マツノザイセンチュウを伝搬)。1973年頃に九州から沖縄県へ侵入し、宮古島へは1980年代後半の侵入と考えられている。	(1),(2),(4),(96),(138)	○		国内移動				区分外
224			タカサゴシロカミキリ	<i>Olenecamptus formosanus</i>			○			宮古島	奄美からシマルスベリと共に運ばれた可能性が指摘されている。宮古島からは2005年に報告されている。	(139)	○		国内移動				区分外
225			ヤエヤマフトカミキリ	<i>Pebblephaeus yayeyamai</i>			○			宮古島	自然分布:石垣島、西表島、波照間島 宮古島では1998年に確認。体色から石垣島から侵入したと考えられている。	(138),(139)	○		島嶼間移動				区分外
226			ベニカミキリ	<i>Purpuricenus temminkii</i>	(○)					沖縄島	工芸品店の竹からの発生報告(野外確認はされていない)。	(24),(96)	△		国内移動				区分外
227			イエカミキリ	<i>Stromatium longicorne</i>		○				北大東島、南大東島	大東諸島へは沖縄島から持ち込まれた可能性が高いと報告されている。 県内分布:沖縄島、伊計島、阿嘉島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島	(2),(167)	○		島嶼間移動				区分外
228	コウチュウ	カクホソカタムシ	パークホソカタムシ	<i>Euxestus parki</i>				○		石垣島		(2),(4)	○						区分外
229		ハムシ	キムネクロナガハムシ	<i>Brontispa longissima</i>	○	○	○	○		沖縄島、宮古島、多良間島、石垣島、小浜島、西表島、与那国島	ヤシ類の害虫 1978年沖縄島で初確認以降、1982年石垣島、1984年宮古島・西表島・与那国島で侵入確認。 台湾からの苗の持ち込みにより侵入したと推定されている。	(1),(3),(4),(164)	○						区分外
230			ミカンカメノハムシ	<i>Cassida obtusata</i>	○					沖縄島、伊江島	カンキツ類、イヌビユ、ヒユ科の害虫 1987年沖縄島で初確認	(1),(2),(3),(4)	○						区分外
231			サツマイモヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema confinis</i>	○			○		沖縄島、津堅島、久米島、石垣島	サツマイモ、エンサイ、グンバイヒルガオ等の害虫。北アメリカ原産。	(36),(174)	○						区分外
232			ヒロヒゲツツハムシ	<i>Diachus auratus</i>	○	○	○	○		沖縄県全域	ギンネム、ハギ類を食害 1995年に沖縄島で初確認	(1),(2),(4)	○						区分外
233			イネクビボソハムシ	<i>Oulema oryzae</i>				○		与那国島	イネの害虫 1937年初確認	(1),(2),(4)	○						区分外
234			ミスジクビボソハムシ	<i>Lema trivittata</i>			○	○		宮古島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島	ナス科を食害。2004年に石垣で採集。本来の分布は北米。	(80),(81),(115)	○						区分外
235			タイワンハムシ	<i>Linaeidea formosana</i>	○					沖縄島	タイワンハンノキを食害。2010年に記録。	(15),(36)	○						区分外
236			フェモラーオオモモフトハムシ	<i>Sagra femorata</i>	-	-	-	-		(侵入していない)	侵入していない。		×		その他の総合対策外来種				予防種
237		マメゾウムシ	インゲンマメゾウムシ	<i>Acanthoscelides obtectus</i>	○	○	○	○		沖縄島、宮古島、石垣島	貯蔵インゲンの害虫 1951年初確認	(1),(2),(3),(4),(156)	○						区分外
238			ヨツモンマメゾウムシ	<i>Callosobruchus maculatus</i>	○					沖縄島	アズキ、ササゲ、リュウクトウなどの豆類の害虫 1959年初確認	(1),(2),(3),(4),(156)	○						区分外
239			アズキマメゾウムシ	<i>Callosobruchus chinensis</i>	○		○	○		沖縄島、宮古島、石垣島、西表島	貯蔵穀類害虫(アズキ、ササゲ等) アズキが中国から日本へ渡来した頃に侵入したと推定されている。	(2),(3),(4),(156)	○						区分外
240			ブラジルマメゾウムシ	<i>Zabrotes subfasciatus</i>	○	○	○	○		沖縄県全域	貯蔵ダイズ、アズキ、他豆類の害虫 1959年沖縄島で初確認	(1),(3),(4)	○						区分外
241		ヒゲナガゾウムシ	ワタミヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus fasciculatus</i>	○	○	○	○		沖縄島、宮古島、伊良部島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島、北小島	トウモロコシなど穀類の害虫 1956年に石垣島で初確認	(1),(2),(4),(156),(163),(170)	○						区分外
242			ギンネムヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus levipennis</i>	○			○		沖縄島、黒島	ギンネムを食害	(36),(73),(118)	○						区分外
243		ミツギリゾウムシ	アリモドキゾウムシ	<i>Cylas formicarius</i>	○	○	○	○		沖縄島、粟国島、宮古島、伊良部島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島、魚釣島、等	サツマイモ、ノアサガオ、グンバイヒルガオの害虫 1903年に初確認。寄生された塊根の移動による伝播	(1),(2),(3),(4),(7),(163),(171)	○					●	区分外
244		ゾウムシ	ヒラヤマメナガゾウムシ	<i>Aclees hirayamai</i>	○		○	○		沖縄島、宮古島、来間島、石垣島、西表島、与那国島	ガジュマルなどのイチジク属を食害	(2),(4),(170)	○						区分外
245			ワタデオゾウムシ	<i>Amorphaidea lata</i>			○	○		石垣島、西表島、宮古島、伊良部島、多良間島、大神島	オオハマボウを食害	(4),(78),(82),(170),(171)	○						区分外

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
246			イモゾウムシ	<i>Euscepes postfasciatus</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、伊是名島、久高島、伊計島、宮古島、伊良部島、多良間島、大神島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島、北大東島等	サツマイモ、ノアサガオ、グンバイヒルガオの害虫 1947年沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (7), (170), (171)	○					●	区分外	
247			アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera postica</i>	○		○		沖縄島、久米島、大神島	マメ科牧草の害虫 1982年沖縄島で初確認	(1), (2), (4), (170)	○					●	区分外	
248			イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表島、与那国島等	イネの害虫 1985年に初確認	(1), (2), (3), (4), (8)	○					●	区分外	
249			ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>		○		○	与那国島、南大東島、北大東島	野菜類の害虫 1960年に初確認	(1), (2), (4)	○						区分外	
250			ヨナグニアカアシカタゾウムシ	<i>Metapocyrtus (Trachycyrtus) yonaguniensis</i>	○				沖縄島	自然分布: 与那国島(固有種) 2007年に沖縄島で初確認	(60), (61)	○		島嶼間移動				区分外	
251			リュウキュウマツクチフトゾウムシ	<i>Nothomylocerus pini</i>				○	宮古島	本種はリュウキュウマツに依存しており、植栽により持ち込まれたと考えられている。	(170)	○						区分外	
252			オオランヒメゾウムシ	<i>Orchidophilus aterrimus</i>	○				沖縄島	コウトウシラン、ナリヤラン等	(11)	○						区分外	
253			ニセマツシラホゾウムシ	<i>Shirahoshizo rufescens</i>				○	宮古島	本種はリュウキュウマツに依存しており、植栽により持ち込まれたと考えられている。	(170)	○						区分外	
254			ナガチビコキゾウムシ	<i>Sitona cylindricollis</i>					沖縄島	マメ科牧草の害虫 1961年に初確認	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
255		オサゾウムシ	バショウオサゾウムシ	<i>Cosmopolites sordidus</i>	○	○	○	○	沖縄島、石垣島、大神島、南大東島等	バナナ等Musa属植物の害虫 1926年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (170)	○						区分外	
256			ヨツボシヤシコクゾウムシ	<i>Diocalandra frumenti</i>	○				沖縄島	ヤシ類の害虫 1977年初確認	(1), (2), (4)	○						区分外	
257			サトウキビコクゾウムシ	<i>Myocalandra exarata</i>	○	○	○		沖縄島、宮古島、南大東島	タケ類、ラタン、サトウキビの害虫 1928年に沖縄島で初確認	(1), (2), (4)	○						区分外	
258			バナナツヤオサゾウムシ	<i>Odoiporus longicollis</i>	○		○	○	沖縄島、古宇利島、宮古島、大神島、来間島、多良間島、石垣島	バナナ等Musa属植物の害虫 1969年沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (23), (170), (171)	○						区分外	
259			バショウコクゾウムシ	<i>Polytus mellerborgi</i>	○			○	沖縄島、大神島	バナナの害虫 1950年代に初確認	(1), (2), (4), (170)	○						区分外	
260			シロスジオサゾウムシ	<i>Rhabdoscelus lineatocollis</i>	○			○	沖縄島、宮古島、来間島、伊良部島、石垣島	ヤシ、サトウキビの害虫 1976年沖縄島で初確認。2006年に宮古島で初確認。石垣島は1995年の報告。	(1), (2), (3), (4), (154)	○						区分外	
261			カンショオサゾウムシ	<i>Rhabdoscelus obscurus</i>				○	南大東島、北大東島	サトウキビ、ヤシ類の害虫 1960年に南北大東島で初確認	(1), (4)	○		重点対策外来種			●	対策種	
262			ヤシオオサゾウムシ	<i>Rhynchophorus ferrugineus</i>	(○)	(○)			沖縄島、大東諸島	ヤシ類の害虫。1975年沖縄島で初確認。絶滅したと思われる。	(1), (2), (3), (4)	△						区分外	
263			ココゾウムシ	<i>Sitophilus oryzae</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、北大東島、南大東島	貯穀類害虫	(2), (4), (156)	○						区分外	
264			ココゾウムシ	<i>Sitophilus zeamais</i>	○				沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、小浜島、与那国島、波照間島	貯穀類害虫	(2), (4), (156)	○						区分外	
265			シバオサゾウムシ	<i>Sphenophorus venatus vestitus</i>	○			○	沖縄島、西表島	ノシバ類の害虫 1979年沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (57)	○						区分外	
266	コウチュウ	オサゾウムシ	ゲットウトゲムネサルゾウムシ	<i>Xenysmoderes consularis</i>	○				沖縄島、石垣島	ゲットウの害虫	(17), (59)	○						区分外	
267	ハチ	ツヤコバチ	ヤノネキイロコバチ	<i>Aphytis yanonensis</i>	(○)				沖縄島	1983年初確認。ヤノネカイガラムシの天敵。絶滅したと思われる。	(1), (2), (4)	△						区分外	
268			ヤノネツヤコバチ	<i>Coccobius fulvus</i>	(○)				沖縄島	1983年初確認。ヤノネカイガラムシの天敵。絶滅したと思われる。	(1), (2), (4)	△						区分外	
269		ヒメコバチ	ミカンキジラミヒメコバチ	<i>Tamarixia radiata</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島	ミカンキジラミの天敵	(78), (79)	○						区分外	
270			デイゴヒメコバチ	<i>Quadrastichus erythrinae</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、石垣島、宮古島、西表島、波照間島	デイゴの害虫 2005年石垣島で初確認。2006年には沖縄県の23市町村78ヶ所で虫こぶが確認された。	(3)	○						区分外	
271		スズメバチ	ナンヨウチビアシナガバチ	<i>Ropalidia marginata</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種					予防種	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版				沖縄県における区分
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
272			ツマアカスズメバチ	<i>Vespa velutina</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	緊急対策外来種			●			予防種
273	ドロバチ		チャイロネットアイズバチ	<i>Delta pyriforme</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種						予防種
274	ミツバチ		セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	(○)		(○)	(○)	伊是名島、沖縄島、浜比嘉島、久米島、宮古島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、波照間島、西表島、等	1945年以後に侵入。農作物の授粉、採蜜のための養蜂が行われている。沖縄島では野外営巣が確認されているが(177)、継続的な営巣は確認されていない。飼育されているものも野外で行動するため、野外営巣がなくとも一定の生態系影響があると考えられる(専門家意見)	(1), (2), (4), (91), (177)	○?							産業管理外来種
275			アフリカミツバチ及びアフリカ化ミツバチ	<i>Apis mellifera scutellata</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種						予防種
276			セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>	(○)				沖縄島	2013年6月に確認。農作物の授粉用に販売されている。	(4), (9)	○?	産業管理外来種			●	●	産業管理外来種	
277	コマユバチ		コマユバチの一種	<i>Apanteles erionotae</i>	○				沖縄島(?)	バナナセシリの天敵。1975年に沖縄島で確認。	(1), (4)	○						区分外	
278			コマユバチの一種	<i>Biosteres longicaudatus</i>	(○)			○	沖縄島、石垣島	ミカンコミバエの天敵。1950年代に確認。沖縄島は絶滅したと言われる。	(1), (4)	○						区分外	
279			コマユバチの一種	<i>Biosteres oophilus</i>	(○)			○	沖縄島、石垣島	ミカンコミバエの天敵。1959年に沖縄島で確認。沖縄島は絶滅したと言われる。	(1), (4)	○						区分外	
280			ウリミバエコマユバチ	<i>Opius fletcheri</i>	○		○	○	沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、石垣島、竹富島	ウリミバエの天敵。1932~1934年に確認。	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
281	トビコバチ		タマゴトビコバチの一種	<i>Ooencyrtus erionotae</i>	○				沖縄島	バナナセシリの天敵。1975年に初確認。	(1), (4)	○						区分外	
282	アリ		アシナガキアリ	<i>Anoplolepis gracilipes</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊計島、沖縄島、屋我地島、瀬底島、平安座島、敷地島、古宇利島、宮城島、津堅島、久高島、硫黄島、渡名喜島、渡嘉敷島、粟国島、久米島、宮古島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	林縁や草地、路傍、公園や畑地に普通で、樹上にもよく徘徊している。多雌性かつ多異性で、スーパーコロニーを形成する。本種の侵入により生態系が攪乱されたという報告が幾例もある。アフリカ起源説とアジア起源説とがある。	(2), (76), (91), (152)	○			●			区分外	
283			トゲハダカアリ	<i>Cardiocondyla sp. A</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊是名島、沖縄島、屋我地島、平安座島、宮城島、伊計島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、来間島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、北大東島	裸地や海岸等の乾燥した環境によく見られ、土中や石下に営巣する。多雌性で1つのコロニーに数頭から最大50頭の女王が見られる。島嶼の分布は、カドハダカアリ(C. sp. B)との2種が混在した記録である。	(76), (152)	○						区分外	
284			カドハダカアリ	<i>Cardiocondyla sp. B</i>	○		○	○	伊是名島、沖縄島、宮古島、諸門司島、石垣島、西表島	裸地や海岸等の乾燥した環境によく見られ、土中や石下に営巣する。多雌性で1つのコロニーに数等から最大50頭の女王が見られる。	(152)	○						区分外	
285			ヒヤケハダカアリ	<i>Cardiocondyla kagutsuchi</i>				○	石垣島	開けた場所の石下等に営巣する。多雌性で1つのコロニーに平均3.2頭の女王が見られる。石垣島の分布は東南アジアからの人為的移入種である可能性が指摘されており、同島のダム建設工事現場付近で発見された。ダム完成後もダム周辺にのみ生息が確認されている。	(152)	○						区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
286			ヒメハダカアリ	<i>Cardiocondyla minutior</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、屋我地島、古宇利島、伊計島、平安座島、藪地島、浜比嘉島、宮城島、津堅島、久高島、波名喜島、宮古島、池間島、来間島、下地島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、魚釣島、南小島、北大東島、南大東島	開けた環境に生息する。	(76), (152), (163)	○					区分外		
287			キイロハダカアリ	<i>Cardiocondyla obscurior</i>	○	○	○	○	伊是名島、沖縄島、宮城島、津堅島、久高島、宮古島、池間島、来間島、下地島、石垣島、西表島、竹富島、与那国島、北大東島、南大東島	樹上で立木の枯枝中に営巣する。多雌性で平均7頭の女王が1つのコロニーに見られる。東南アジアからの人為的移入種とされている。	(76), (152)	○					区分外		
288			ウスキイロハダカアリ	<i>Cardiocondyla wroughtonii</i>	○				沖縄島	草地や林縁の枯れたスキの空洞部に巣が見られる。熱帯アジアおよびオーストラリア原産とされている。	(152)	○					区分外		
289			カドフシニセハリアリ	<i>Hypoponera opaciceps</i>	○			○	沖縄島、硫黄島、平安座島、波照間島、与那国島	土中に営巣し、多雌性かつ多巢性。原産地はブラジルと推定されている。	(76), (152)	○					区分外		
290			フシナガニセハリアリ	<i>Hypoponera ragusai</i>	○		○	○	沖縄島、渡嘉敷島、宮古島、来間島、下地島、石垣島、西表島、小浜島、与那国島	土中に営巣する。	(76), (91), (152)	○					区分外		
291			トビニセハリハリ	<i>Hypoponera punctatissima</i>	○	○	○		沖縄島、平安座島、屋我地島、宮古島、下地島、北大東島、南大東島	土中に営巣し、多雌性かつ多巢性。熱帯アメリカからヨーロッパが起源とされている。	(152)	○					区分外		
292	ハチ	アリ	マルフシニセハリアリ	<i>Hypoponera zwaluwenburgi</i>	○		○		沖縄島、瀬底島、宮古島、池間島	太平洋地域の島嶼では、人為的に分布が拡大している。	(76), (152)	○					区分外		
293			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>	○				沖縄島	那覇市と辺野喜ダムの工事現場からのみ採集されており、本土からの人為的な移動による分布である可能性が高いとされている。	(1), (2), (4), (76), (152)	○		国内移動			区分外		
294			カワラケアリ	<i>Lasius sakagamii</i>	○				沖縄島	多雌性かつ多巢性。非常に大きなコロニーを形成する場合があります。多い場合は女王アリが820/m ² 、働きアリの数が最大で1つの巣に50万個体が認められたという報告がある。那覇市内のみで採集されており、本土からの人為的移入による可能性が高いとされている。	(1), (2), (76), (91), (152)	○		国内移動			区分外		
295			アルゼンチンアリ	<i>Linepithema humile</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	緊急対策外来種	●	●	●	重点予防種		
296			クロヒメアリ	<i>Monomorium chinense</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、瀬底島、伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島、津堅島、久高島、屋我地島、渡嘉敷島、粟国島、波名喜島、久米島、宮古島、池間島、来間島、下地島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、魚釣島、北小島、南小島、北大東島、南大東島	林縁から草地の乾いた環境に多く、土中に営巣する。多雌性。熱帯アジア原産。	(152), (163)	○					区分外		
297			ミゾヒメアリ	<i>Monomorium destructor</i>	○	○		○	沖縄島、黒島、南大東島	開けた環境に生息し、人家周辺にも見られ、家屋にも侵入する。アフリカが東南アジア原産と推定されている。	(76), (91), (152)	○					区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	我が国の固有種との間移動	在来種の国内移動、島	その他情報			沖縄県における区分						
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										島名	文献	定着状況		我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	我が国の固有種との間移動	在来種の国内移動、島	特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島																
298			フタイロヒメアリ	<i>Monomorium floricola</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、平安座島、伊計島、屋我地島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	比較的開けた場所に多く生息する。樹上で、樹皮下、枯枝中に営巣する。インドか東南アジア原産と推定される。	(152)	○						区分外						
299			シワヒメアリ	<i>Monomorium latinode</i>	○		○	○	伊是名島、沖縄島、瀬底島、津堅島、粟国島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島	枯れ枝に巣がみられる。熱帯アジア原産。	(76), (91), (152)	○						区分外						
300			イエヒメアリ	<i>Monomorium pharaonis</i>	○		○	○	沖縄島、瀬底島、久高島、宮古島、石垣島、西表島、黒島	家屋害虫であり、家屋周辺や家屋内に営巣する。多産性で、コロニーは分巢によって増える。アフリカ原産とされる。	(2), (4), (76), (152)	○						区分外						
301			カドヒメアリ	<i>Monomorium sechellense</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊是名島、沖縄島、瀬底島、水納島、伊計島、平安座島、敷地島、浜比嘉島、宮城島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、来間島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、魚釣島、北大東島、南大東島	比較的開けた場所に生息し、石下や倒木下等に営巣する。アジア原産と推定されている。	(76), (152), (163)	○						区分外						
302			ハラクシケアリ 隠蔽種群	<i>Mymica ruginodis</i> species complex	(○)				沖縄島	分子系統解析の結果、少なくとも5種が混在する。かつては、シワクシケアリと記録されていた。沖縄島の記録は、読谷村の建設現場(採石場)で採集された古い標本によるものであり、現況不明。	(1), (2), (4), (76), (152)	△						区分外						
303			ケブカアメイロアリ	<i>Nylanderia amia</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、古宇利島、伊計島、津堅島、久高島、平安座島、浜比嘉島、宮城島、屋我地島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、伊良部島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、魚釣島、南小島、北大東島、南大東島	裸地や草地などの乾いた環境に多く、石下や土中に営巣する。熱帯アジア原産。	(152), (163)	○						区分外						
304			ルリアリ	<i>Ochetellus glaber</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、瀬底島、古宇利島、伊計島、平安座島、宮城島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、渡名喜島、渡嘉敷島、粟国島、久米島、宮古島、池間島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島、南小島、北大東島、南大東島	草地や林縁部でごく普通に見られ、枯枝、朽木、石下などに営巣する。単産性あるいは2~5個体の女王が見られる寡産性を示す。東南アジア原産。	(152), (163)	○						区分外						
305			ヒゲナガアメイロアリ	<i>Paratrechina longicornis</i>	○	○	○	○	伊是名島、硫黄島、沖縄島、古宇利島、平安座島、伊計島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、粟国島、久米島、宮古島、池間島、伊良部島、来間島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北小島、北大東島、南大東島	草地や路傍の乾燥した環境に普通にみられ、家屋にもしばしば侵入する。東南アジア原産と推定されている。	(2), (4), (76), (152)	○						区分外						

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島										
306	ハチ	アリ	ミナミオオズアリ	<i>Pheidole fervens</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、宮城島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、小浜島、竹富島、与那国島、北大東島、南大東島	裸地から林縁にかけて主に生息する。熱帯アジア原産。	(76), (152)	○					区分外	
307			インドオオズアリ	<i>Pheidole indica</i>	○	○	○	○	伊平屋島、沖縄島、宮古島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島	裸地などの乾燥した場所を好み、市街地にも見られ、土中に営巣する。多雌性かつ多巣性。	(152)	○					区分外	
308			ツヤオオズアリ	<i>Pheidole megacephala</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、水納島、屋我地島、平安座島、藪地島、浜比嘉島、宮城島、伊計島、津堅島、久高島、硫黄島、渡嘉敷島、粟国島、阿嘉島、波名喜島、久米島、宮古島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	裸地や畑、海岸付近等の乾燥した環境に普通に見られる。アフリカ原産とされている。	(2), (4), (76), (152)	○			●		対策種	
309			ナンヨウテンコクオオズアリ	<i>Pheidole sp. cf. parva</i>	○	○			沖縄島、屋我地島、南大東島	複数の隠蔽種からなる可能性が高い。なお、以前はプギオズアリ(<i>p. bugi</i>)の名でも報告されている。1990年代後半から沖縄島で確認されるようになった。南大東島は2007年に報告されている。住宅域を含む裸地環境に生息する。東南アジア原産。	(76), (77), (152)	○					区分外	
310			ヨコヅナアリ	<i>Pheidologeton diversus</i>	○				沖縄島	数千個体からなる大きなコロニーをつくり、土中や石下に営巣する。東南アジア原産。	(152)	○					区分外	
311			クロトゲアリ	<i>Polyrhachis dives</i>	○				沖縄島、宮城島、藪地島、久米島	宮古・八重山諸島(宮古島、池間島、伊良部島、来間島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島)は自然分布であると考えられているが、沖縄島へは比較的近年になって侵入・定着したと考えられている。沖縄島では、分布が北部へ拡大している。多雌性かつ多巣性。1つの巣に最大で594個体の女王アリの記録がある。	(76), (152)	○		島嶼間移動			区分外	
312			トカラウロコアリ	<i>Pyramica membranifera</i>	○		○	○	硫黄島、沖縄島、宮城島、渡嘉敷島、宮古島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島	比較的開けた場所に生息し、土中に営巣する。多雌性で産雌性単為生殖が確認されている。アフリカあるいはヨーロッパ原産と推定されている。	(76), (91), (152), (163)	○					区分外	
313			アカカミアリ	<i>Solenopsis germinata</i>	(○)				沖縄島、伊江島	沖縄島(1967年本部町備瀬)は絶滅したと考えられる。伊江島は最近の生息は確認されていない。中米から合衆国南部原産。	(1), (2), (4), (76), (152)	△	緊急対策外来種		●		重点予防種	
314			ヒアリ(アカヒアリ)	<i>Solenopsis invicta</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種		●	●	重点予防種	
315			ヨフシウロコアリ	<i>Strumigenys emmae</i>	○	○		○	沖縄島、瀬底島、水納島、渡嘉敷島、北大東島、南大東島	林縁のやや開けた環境に生息。トビムシ類を狩って餌とする。アフリカ原産と推定されている。	(76), (91), (152)	○					区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
316			アワテコヌカアリ	<i>Tapinoma melanocephalum</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、瀬底島、古宇利島、伊計島、平安座島、宮城島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、粟国島、久米島、宮古島、池間島、下地島、伊良部島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	土中、石下、樹皮下などの隙間に営巣し、熱帯域では家屋害虫になっている。 多雌性かつ多巢性。	(2), (4), (76), (152)	○					区分外		
317			アシジロヒラフシアリ	<i>Technomyrmex brunneus</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、屋我地島、藪地島、瀬底島、伊計島、平安座島、宮城島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、伊良部島、来間島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	比較的乾燥した草地や林縁に見られ、朽木や切株、枯枝等に営巣する。しばしば働きアリの個体数が数百万に達する多巢性の巨大なコロニーを形成する。 琉球列島のマングローブでの優占種。 東南アジア原産。	(76), (152)	○					区分外		
318			オオシワアリ	<i>Tetramorium bicarinatum</i>	○	○	○	○	沖縄島、硫黄島、伊平屋島、伊是名島、古宇利島、伊計島、平安座島、宮城島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、粟国島、久米島、宮古島、池間島、来間島、下地島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島、北小島、南小島、北大東島、南大東島	多雌性かつ多巢性。 草地、裸地、畑等の開けた乾燥した環境に生育する。 東南アジア原産。	(76), (91), (152), (163)	○					区分外		
319			イカリゲシワアリ	<i>Tetramorium lanuginosum</i>	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、沖縄島、水納島、瀬底島、屋我地島、伊計島、平安座島、藪地島、浜比嘉島、宮城島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、伊良部島、下地島、多良間島、石垣島、西表島、竹富島、黒島、小浜島、波照間島、与那国島、魚釣島、北小島、南小島、北大東島、南大東島	比較的開けた場所に生息し、石下、倒木下、枯枝中等に営巣する。 東南アジア原産。	(76), (152), (163)	○					区分外		
320			サザナミシワアリ	<i>Tetramorium simillimum</i>	○	○	○	○	沖縄島、伊是名島、瀬底島、浜比嘉島、宮城島、宮古島、池間島、石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島、北大東島、南大東島	土中や石下に営巣する。 ヨーロッパ原産の可能性が指摘されている。	(76), (91), (152)	○					区分外		
321			コカミアリ	<i>Wasmannia auropunctata</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種	●	●		重点予防種		
322	ベッコウバチ	ツマアカベッコウ (ツマアカコブベッコウ)	<i>Tachypompilus analis</i>	○		○	○	沖縄島、屋我地島、久米島、宮古島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島		(2), (4), (163)	○						区分外		
323	タマゴクロバチ	カンシャコバナカメムシタマゴバチ	<i>Eumicrosoma blissae</i>	○	○	○	○	沖縄県全域	カンシャコバナナガカメムシの卵に寄生。台湾から宿主とともに持ち込まれたと推定されている。	(1), (2), (3), (4)	○						区分外		
324		バタタマゴヤドリバチ	<i>Scelio hieroglyphii</i>	○	○			沖縄島、南大東島、北大東島	トノサマバタ、タイワンツチイナゴの天敵として、1974年にタイから南大東島へ導入。	(1), (4), (169)	○						区分外		
325		ウンカタマゴヤドリコバチ	<i>Ooetrastichus fomosanus</i>	○	○		○	沖縄島、石垣島、南大東島	クロフツノウカ、ウスイロノウカの天敵。 1969年に沖縄島で確認	(1)	○						区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
326		アナバチ	オキナワアナバチ	<i>Prionyx viduatus</i>	○		○	○	沖縄島、屋我地島、渡嘉敷島、阿嘉島、久米島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島		(2), (4)	○						区分外	
327	ノミ	ヒトノミ	ニワトリノミ(ニワトリフトノミ)	<i>Echinophaga gallinacea</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	ニワトリや鳥類に寄生	(2), (4), (135)	○						区分外	
328			ヒトノミ	<i>Pulex irritans</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	衛生害虫(外部寄生虫)	(2), (4), (134)	○						区分外	
329			ケオプスネズミノミ	<i>Xenopsylla cheopis</i>	○	-	-	-	沖縄島以外にも広く分布すると思われるが詳細不明	衛生害虫。ペストを媒介する。沖縄県に分布するが詳細不明。	(2), (4), (135), (157)	○						区分外	
330	ハエ	ハモグリバエ	トマトハモグリバエ	<i>Liriomyza sativae</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島	ウリ科、マメ科、ナス科などの害虫 1999年に初確認	(1), (2), (4)	○					●	区分外	
331			マメハモグリバエ	<i>Liriomyza trifolii</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島	ガーベラ、キク、レタス、トマト、メロンなどの害虫。 1993年に沖縄島で初確認。	(1), (2), (4)	○					●	区分外	
332		タマバエ	ランソボミタマバエ	<i>Contarinia maculipennis</i>	○				沖縄島	デンドロビウム、ハイビスカス、ニガウリ、ナス、トマト、ジャガイモ、ジャスミン、パクチョイなどの害虫 1989年に初確認	(1), (2), (4)	○						区分外	
333			マンゴーフレタマバエ	<i>Procontarinia mangicola</i>	○		○	○	沖縄島、平安座島、慶留間島、久米島、宮古島、来間島、石垣島、西表島、与那国島	マンゴーの害虫 2000年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
334		カ	ネッタシマカ	<i>Aedes aegypti</i>	(○)		(○)	○	沖縄島?、久米島、宮古島?、石垣島、西表島	沖縄島と宮古島の分布は疑わしいとされている。 2002~2003年の沖縄島、石垣島、与那国島の調査ではいずれの地点でも確認されていない。	(2), (4), (62), (160)	○					●	区分外	
335			ヒトスジシマカ	<i>Aedes albopictus</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、水納島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島、黒島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	衛生害虫	(2), (4), (62), (134)	○					●	区分外	
336		ユスリカ	ミナミユスリカ	<i>Chironomus tainanus</i>	○		○	○	沖縄島、池間島、宮古島、石垣島		(2), (4), (78)	○						区分外	
337		ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>	○			○	沖縄島、石垣島、西表島	衛生害虫(不快害虫)	(2), (4), (134)	○						区分外	
338			オナジショウジョウバエ	<i>Drosophila simulans</i>	-	-	-	-	分布詳細不明	衛生害虫(不快害虫)	(2), (4), (134)	○						区分外	
339		チョウバエ	ホシチョウバエ	<i>Tinearia alternata</i>	○			○	沖縄島、石垣島	不快害虫。有機物の多い汚れた場所に発生。	(2), (4), (135), (156)	○						区分外	
340		ノミバエ	コシアキノミバエ	<i>Diploneura cornuta</i>	○				沖縄島	不快害虫。有機物の多い汚れた場所に発生。	(2), (4), (134), (135)	○						区分外	
341		ミズアブ	アメリカミズアブ	<i>Hermética illuceus</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、石垣島、西表島、与那国島、波照間島、南大東島等	衛生害虫。生ごみ、畜ふんに発生。 1958年に確認。	(1), (2), (4), (26), (74), (132)	○						区分外	
342		ミバエ	ウリミバエ	<i>Bactrocera cucurbitae</i>	(○)		(○)	(○)	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島	ウリ類の害虫。ナス科やマメ科、果樹等も食害する。1919年に確認され、その後根絶(1993年)。	(1), (2), (3), (4)	△					●	区分外	
343			ミカンコミバエ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	(○)		(○)	(○)	沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、西表島	1919年に初めて発生を確認。ミカン類、マンゴー、バナナ、果実類の害虫。根絶(1984年)。	(1), (2), (3), (4)	△						区分外	
344			ナスミバエ(マレーシアミバエ)	<i>Bactrocera latifrons</i>	○			(○)	沖縄島、与那国島	1984年に与那国島で初めて確認。 果菜類(ナス科)の害虫 与那国島で根絶(2011年)	(3), (72), (100)	○						区分外	
345				<i>Bactrocera synnephes</i>				(○)	西表島	2006年に侵入し、一時的に世代を繰り返したと考えられている。定着には至っていない。	(159)	△						区分外	
346			セグロウリミバエ	<i>Bactrocera tau</i>				(○)	石垣島	ウリミバエと同様の農業害虫。 1998年、2003年に侵入し、一時的に世代を繰り返したと考えられている。定着には至っていない。	(158)	△						区分外	
347	チョウ	ハマキガ	レイシヒメハマキ	<i>Statherotis discana</i>	○			○	沖縄島、石垣島	レイシ、ランブータンの害虫 1990年に沖縄島で初確認	(1), (2), (4)	○						区分外	
348		ヒロズコガ	レイシホソガ	<i>Conopomorpha litchiella</i>	○				沖縄島	レイシ、リュウガンの害虫 1989年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
349			レイシシロズホソガ	<i>Conopomorpha sinensis</i>	○			○	沖縄島、石垣島	レイシ、リュウガンの害虫 1990年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4)	○						区分外	
350			コクガ	<i>Nemapogon granellus</i>	○				沖縄島	シイタケの害虫。貯蔵害虫	(2), (4), (95), (156)	○						区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版				沖縄県における区分
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報				
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島							特定外来生物	世界の侵略的外来種	ワースト100	日本の侵略的外来種	
351			クロテンオオメッコガ	<i>Opogona sacchari</i>	○	○	○		沖縄島、久米島、宮古島、南大東島	観葉植物、ヤシ、パパイヤ、ユリ科、サトウキビ、貯穀類などの害虫。 1992年に沖縄島で確認された。在来の可能性も指摘されている。	(1), (3), (4), (13), (150)	○							区分外
352			コイガ	<i>Tineola bisselliella</i>	○				沖縄島	毛織物の害虫	(2), (4), (95), (156)	○							区分外
353			イガ	<i>Tinea translucens</i>	○				沖縄島	毛織物の害虫	(4), (156)	○							区分外
354		キバガ	ジャガイモキバガ (ジャガイモガ)	<i>Phthorimaea operculella</i>	○		○		沖縄島、久米島、伊江島、伊平屋島、伊是名島、宮古島、石垣島	ジャガイモ、タバコ、ナスなどの害虫 1968年に沖縄島で確認。	(1), (2), (4)	○							区分外
355			バクガ	<i>Sitotroga cerealella</i>	○				沖縄島	ムギ類等の害虫	(2), (4), (95), (156)	○							区分外
356		マルハキバガ	コクマルキバガ	<i>Anchonomaxaraula</i>	○		○		沖縄島、西表島	貯穀害虫	(4), (156)	○							区分外
357		カザリバガ	トウモロコシガリホソガ	<i>Anatrachyntis rileyi</i>			○		石垣島	貯穀及び普通作物の害虫	(3), (4)	○							区分外
358		イラガ	ハスオビイラガ	<i>Darna pallivitta</i>	○				沖縄島	ドラセナなどの観葉植物、イネ科、ヤシ科の害虫。 1995年に初確認。 在来の可能性もある。	(1), (2), (3), (4)	○							区分外
359			ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida</i>	○				沖縄島	カンヒザクラやカキなど庭木、果樹の害虫。 1982年に初確認	(1), (2), (4)	○						●	区分外
360		マダラガ	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i>	○		○		沖縄島、西表島、与那国島	タケ・ササ類の害虫。衛生害虫。	(2), (4), (95), (143)	○							区分外
361		メイガ	ガイマイツツリガ	<i>Corcyra cephalonica</i>	○				沖縄島	貯穀類害虫 1999年の調査で初めて確認	(1), (2), (3), (4)	○							区分外
362			ケブカノメイガ	<i>Crocidolomia binotalis</i>	○	○	○		沖縄島、石垣島、南大東島	アブラナ科の害虫 1980年に南大東島、1982年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4)	○							区分外
363			スジコナマダラノメイガ	<i>Ephestia kuehniella</i>	○		○		沖縄島、久米島、西表島	貯穀、貯蔵食品の害虫 1960年に沖縄島で確認	(1), (2), (4)	○							区分外
364			スジマダラメイガ	<i>Ephestia cautella</i>	○		○		沖縄島、西表島	貯穀、貯蔵食品の害虫	(4), (155), (156)	○							区分外
365			ヤハズカズラメイガ	<i>Filodes fulvidorsalis</i>	○		○		沖縄島、石垣島	1999年に沖縄島で初確認。2010年に石垣島で確認。 幼虫はヤハズカズラ(南アフリカ原産)とベンガルヤハズカズラ(インド原産)を食草とする。	(146), (149)	○							区分外
366			ナスノメイガ	<i>Leucinodes orbonalis</i>	○		○		沖縄島、宮古島、石垣島等	ナスの害虫 1960年頃に台湾からナスとともに持ち込まれたと考えられている。1964年に沖縄島、1988年に宮古島と石垣島で確認	(1), (2), (3), (4)	○							区分外
367			サツマイモノメイガ	<i>Omphisa anastomosalis</i>	○		○		沖縄島、伊江島、久米島、阿嘉島、慶留間島、宮古島、多良間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島等	サツマイモ、アサガオの害虫 1941年頃にサツマイモの塊根とともに台湾から波照間島に持ち込まれたのが最初といわれている。本種は深夜活動性であり、船上のライトに飛来した成虫が確認されていることから、船の灯火により島々へ伝播したと可能性がある。	(1), (2), (3), (4), (144), (163)	○							区分外
368			ツツリガ	<i>Paralipisa gularis</i>	○		○		沖縄島、石垣島	貯穀、貯蔵食品の害虫	(2), (4), (95)	○							区分外
369			シバツツガ	<i>Pediasia teterrella</i>	○				沖縄島	シバの害虫 1970年代に確認	(1), (2), (4)	○							区分外
370			ノシメマダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i>	○				沖縄島	貯穀害虫	(2), (4), (95), (156)	○							区分外
371			カシノシマメイガ	<i>Pyralis farinalis</i>	○		○		沖縄島、石垣島	貯穀、貯蔵食品・飼料の害虫	(2), (4), (95), (156)	○							区分外
372			イッテンオオメイガ(サンカメイガ)	<i>Scirpophaga incertulas</i>	○		○		沖縄島、石垣島、西表島、与那国島	イネの害虫	(2), (4), (95)	○							区分外
373		ヒトリガ	ムラマツカノコ	<i>Syntomoides imaoi</i>				○	石垣島、与那国島	2004年に与那国島で侵入・定着。	(153)	○							区分外
374		セセリチョウ	ユウレイセセリ	<i>Borbo cinnara</i>	○				沖縄島	近年、沖縄島に侵入・定着。 沖縄島以外の分布: 伊計島、瀬底島、古宇利島、伊江島、浜比嘉島、宮城島、渡嘉敷島、慶留間島、阿嘉島、粟国島、久米島、オーハ島、奥武島(久米島町)、宮古島、伊良部島、下地島、池間島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島	(130), (136), (137)	○		島嶼間移動					区分外

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
375			バナナセセリ	<i>Eriopota torus</i>	○			○	沖縄島、伊江島、古宇利島、水納島、久米島、浜比嘉島、石垣島、与那国島	沖縄島、石垣島、与那国島等で定着。 リュウキウバショウ、バナナの害虫	(1), (2), (3), (4), (33), (86), (130), (132)	○					区分外		
376			テツイロビロウドセセリ	<i>Hasora badra badra</i>				○	石垣島、西表島	西表島に定着。 食草はテリス(マメ科)。	(2), (4), (86), (130)	○					区分外		
377			クロボシセセリ	<i>Suastus gremius gremius</i>	○		○	○	沖縄島、伊江島、座間味島、古宇利島、水納島、浜比嘉島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、久米島、宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島、石垣島、竹富島、小浜島、由布島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島	1973年以降に移入・定着。 ヤシ類を食害 自然な分布拡大の可能性が残らないわけではないが、本種は卵や幼虫が植物に付いて移動したと考えられている。	(1), (2), (4), (28), (32), (43), (50), (121), (123), (130), (136), (147)	○					区分外		
378	チョウ	アゲハチョウ	コモンタイマイ	<i>Graphium agamemnon</i>				(○)	石垣島、与那国島	石垣島では、人的な放蝶の疑いが指摘されており、与那国島の個体と特徴が異なるという指摘がある。 定着有無は不明。	(112), (130)	△					区分外		
379			ベニモンアゲハ	<i>Pachilopta aristolochiae interposita</i>	○		○	○	伊平屋島、伊是名島、野南島、沖縄島、伊計島、古宇利島、伊江島、瀬底島、水納島、古宇利島、屋我地島、久高島、津堅島、渡名喜島、久米島、オーハ島、栗国島、宮古島、伊良部島、下地島、池間島、大神島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島	食草: コウシュンウマノズクサ、リュウキウウマノズクサ 本種は「我が国に定着している外来生物のリスト(暫定版)」に掲載されているが、分布域の拡大は、自然分布拡大によるものという意見もある。	(1), (2), (4), (10), (27), (41), (44), (130), (136), (148)	○					区分外		
380			オナシアゲハ	<i>Papilio demoleus</i>				(○)	石垣島、竹富島、小浜島、西表島、与那国島	石垣島では、人的な放蝶の疑いが指摘されている。 定着したかは不明。	(112), (130)	△					区分外		
381			ホソオチョウ(ホソアゲハ)	<i>Sericinus montela</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	重点対策外来種				予防種		
382			キシタアゲハ	<i>Troides aeacus kaguya</i>				(○)	波照間島	複数年の発生記録(1996~1997年、2002年)はあるが、定着有無は不明。	(2), (78), (79), (86), (130), (136)	△					区分外		
383		シロチョウ	タイワンモンシロチョウ	<i>Artogeia canidia canidia</i>			○	○	宮古島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島、北小島	キャベツ、他、アブラナ科の害虫。 与那国島では1987年から連続発生。	(1), (2), (86), (130), (163)	○					区分外		
384			タイワンシロチョウ	<i>Appias lyncida Formosama</i>				○	石垣島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、西表島、波照間島、与那国島	ギョボクを食害 与那国島で定着	(1), (2), (4), (86), (130)	○					区分外		
385			ウスキシロチョウ	<i>Catopsilia pomona pomona</i>	○	○	○	○	伊是名島、沖縄島、伊江島、古宇利島、水納島、瀬底島、屋我地島、伊計島、浜比嘉島、津堅島、久高島、奥武島(南城市)、渡嘉敷島、阿嘉島、栗国島、慶留間島、久米島、宮古島、伊良部島、下地島、来間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、外離島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	南西諸島では本種の食草は全て外来の植栽種であり、人の植栽に100%依存している。 沖縄島では定着している。	(130), (148), (163)	○					区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
386			ウラナミシロチョウ	<i>Catopsilia pyranthe pyranthe</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、屋我地島、古宇利島、伊江島、水納島、浜比嘉島、久高島、津堅島、渡嘉敷島、座間味島、久米島、粟国島、宮古島、伊良部島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、由布島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島、北大東島、魚釣島	宮古・八重山諸島では定着	(2), (86), (122), (123), (130), (163)	○						区分外	
387			キシタウスキシロチョウ	<i>Catopsilia scylla cornelia</i>				(○)	石垣島、竹富島	石垣島で1990~1991年に発生、1994年に大発生。食草は街路樹のモクセンナ。現況は不明。	(2), (86), (130)	△						区分外	
388			タイワンキチョウ	<i>Eurema blanda arsakia</i>	○	○	○	○	沖縄島、久米島、宮古島、伊良部島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島	石垣島と西表島に定着	(2), (86), (130)	○						区分外	
389			ホシボシキチョウ	<i>Eurema brigitta hainana</i>	(○)			(○)	沖縄島、石垣島、西表島、与那国島	石垣島で2004年に発生しているが定着有無は不明。	(130)	△						区分外	
390			クロテンシロチョウ	<i>Leptosia nina niobe</i>				○	石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	ギョボクを食害。与那国島で1957年以降定着、石垣島・西表島・波照間島では近年定着傾向	(1), (2), (4), (10), (86), (130), (136), (137)	○						区分外	
391			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、古宇利島、伊江島、水納島、瀬底島、瀬長島、屋我地島、宮城島、浜比嘉島、藪地島、津堅島、久高島、奥武島(南城市)、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、ナガンヌ島、久米島、奥武島(久米島町)、渡名喜島、粟国島、宮古島、伊良部島、下地島、池間島、大神島、来間島、多良間島、水納島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島、北小島、南大東島、北大東島	アブラナ科作物の害虫	(1), (2), (4), (21), (63), (122), (123), (130), (163)	○						区分外	
392		シジミチョウ	クロマダラソテツジミ	<i>Chilades pandava</i>	○	○	○	○	伊平屋島、沖縄島、古宇利島、水納島、瀬底島、浜比嘉島、藪地島、久高島、粟国島、渡嘉敷島、座間味島、渡名喜島、慶留間島、外地島、宮古島、池間島、大神島、伊良部島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、黒島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島、北大東島	1992年に沖縄島で記録以来、各地で定着。ソテツ類を食害	(2), (3), (10), (28), (29), (31), (35), (37), (39), (42), (45), (46), (49), (50), (73), (121), (122), (130), (137)	○						区分外	
393			ソテツジミ(キヤムラジミ)	<i>Chilades mindorus mindorus</i>	(○)			(○)	沖縄島、多良間島、竹富島、黒島、波照間島	1966~1967年に竹富島と黒島で発生、1973~1974年に竹富島で発生、1974年に波照間島と沖縄島で発生。1980年に波照間島で発生。現況は不明。	(2), (86), (130), (136)	△						区分外	
394	チョウ	シジミチョウ	ウスアオオナガウラナミシジミ	<i>Catochrysops panormus</i>	○		○	○	沖縄島、渡嘉敷島、阿嘉島、渡名喜島、座間味島、宮古島、下地島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	八重山諸島に定着したと言われている。沖縄島でも1967年と1975年に発生。渡嘉敷島でも複数回発生している。	(2), (86), (130)	○						区分外	
395			ヒイロシジミ	<i>Deudorix epiarbas</i>				(○)	西表島、与那国島	西表島で2004年に発生したと思われるが、定着有無は不明。	(86), (130)	△						区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分	
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										その他情報	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
396			タイワンヒメシジミ	<i>Freyeria putii</i>			○	石垣島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島	与那国島で2003年に多発、2005～2008年に継続発生。西表島は2006～2009年に発生。2015年も西表島で継続的な発生が確認されている。	(86), (113), (130), (136), (137)	○						区分外		
397			シロウラナミシジミ	<i>Jamides alecto</i>			○	石垣島、西表島、波照間島、与那国島	八重山諸島において発生継続。石垣島では人為的な持ち込みも報告されている。	(2), (86), (112), (130), (136), (137)	○						区分外		
398			カクモンシジミ	<i>Leptotes plinius</i>			○	石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島	波照間島で1980年代に発生したが、定着有無は不明。	(130)	○						区分外		
399			タイワンクロボシシジミ	<i>Megisba malaya sikkima</i>	○	○	○	沖縄島	沖縄島では本種は生息していないが、1970年に初めて採集され、1973年には普通に見られるようになった。 自然分布: 八重山諸島 沖縄島以外の分布: 伊平屋島、伊是名島、古宇利島、伊江島、水納島、瀬底島、屋我地島、伊計島、浜比嘉島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、久場島、粟国島、久米島、オーハ島、奥武島(久米島町)、宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島、水納島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島、魚釣島、北大東島、南大東島 分布域の拡大は、自力飛翔によるものと考えられている。	(130), (136), (137), (148)	○		島嶼間移動				区分外		
400			ヒメウラボシシジミ	<i>Neopithecops zalmora</i>			○	石垣島、西表島、波照間島	1996年以降に西表島で発生継続(?) 在来の可能性もある。	(2), (86), (130), (136)	○						区分外		
401			ヒメウラナミシジミ	<i>Prostos nora kanoi</i>	○		○	沖縄島、宮古島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	石垣島、西表島、与那国島に定着。	(2), (86), (130)	○						区分外		
402			シロモンクロシジミ	<i>Spalgis epius dilama</i>			○	西表島、波照間島、与那国島	西表島で2002年に発生、2003年に大発生し、その後発生継続。幼虫はコナフキカイガラムシを食べる。	(2), (86), (130), (136), (137)	○						区分外		
403			ホリイコシジミ	<i>Zizula hylax</i>	○		○	沖縄島、宮古島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島	ランタナの害虫 八重山・宮古諸島で発生。沖縄島では1987～1988年に多発、2013年も発生。八重山諸島で定着傾向。	(1), (2), (86), (119), (120), (123), (130), (136), (137)	○						区分外		
404	マダラチョウ	マルバネリマダラ	<i>Euploea eunice kadu</i>	(○)	(○)	(○)	伊是名島、沖縄島、津堅島、宮古島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	西表島等で複数回の発生。定着有無は不明。	(130)	△							区分外		
405		ツマムラサキマダラ	<i>Euploea mulciber barsine</i>	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、伊計島、沖縄島、伊江島、古宇利島、屋我地島、水納島、瀬底島、藪地島、浜比嘉島、津堅島、渡嘉敷島、阿嘉島、座間味島、慶留間島、外地島、久米島、奥武島(久米島)、渡名喜島、粟国島、宮古島、大神島、伊良部島、来間島、水納島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島、南大東島	ハマズビエ等、イチジク属を食害 1970年代に八重山諸島で記録が始め、1990年代に北上を開始している。 八重山諸島では1992年から定着、宮古諸島では1995年から定着、沖縄島では1994年から定着。 分布域の拡大は、自力飛翔によるものと考えられている。	(1), (2), (21), (43), (86), (121), (130)	○						区分外			
406		シロオビリマダラ	<i>Euploea camaralzeman</i>	(○)	(○)	○	沖縄島、来間島、石垣島、竹富島、西表島、波照間島、与那国島	与那国島で1980年代後半から増加。2007年に急増し、産卵行動等が確認されている。	(2), (86)	○							区分外		
407		ヒメアサギマダラ(ヒメコモンアサギマダラ)	<i>Paranticaoglea maghaha</i>	(○)	(○)	○	沖縄島、石垣島、竹富島、西表島、波照間島、与那国島	ツルモウリムカなどを食害 与那国島で1980年代後半から継続発生。	(1), (2), (10), (130), (137)	○							区分外		
408		スジグロシロマダラ(コウトウマダラ)	<i>Salatura melanippus edmondii</i>	(○)	(○)	(○)	沖縄島、伊良部島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	1988年で西表島で多発(?)、1988年に沖縄島で発生(?)。定着有無は不明。	(2), (86)	△							区分外		

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	20241009更新版			沖縄県における区分		
					【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	その他情報	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島											
409	タテハチョウ	カバタテハ	<i>Ariadne ariadne pallidior</i>			(○)	○	多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島	八重山諸島で1980年代から各島で発生。飛来→発生→消失を繰り返している可能性も指摘されている。	(1), (2), (86), (130)	○						区分外		
410		シロミスジ	<i>Athyma perius</i>	(○)		(○)	○	沖縄島、石垣島、小浜島、由布島、西表島、波照間島、与那国島	与那国島で定着(1967年初記録)、西表島も定着したと言われる。	(1), (2), (4), (86), (130), (137)	○						区分外		
411		タイワンキマダラ	<i>Cupha erymanthis</i>	(○)			○	沖縄島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、西表島	西表島で1973年から発生、1987年に石垣島と竹富島で発生、その後定着。	(1), (2), (4), (86), (130)	○						区分外		
412		アカボシゴマダラ大陸亜種(名義タイプ亜種)	<i>Hestina assimilis assimilis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	重点対策外来種	●				予防種		
413		ヤエヤマムラサキ	<i>Hypolimnas anomala truentus</i>	(○)		(○)	(○)	伊平屋島、沖縄島、古宇利島、水納島、座間味島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、西表島、波照間島、与那国島	八重山諸島ではよく発生している。ただし、定着は未確認。	(2), (86), (130)	△						区分外		
414	チョウ	タテハチョウ	リュウキュウムラサキ	○	○	○	○	硫黄島、伊平屋島、伊是名島、野南島、沖縄島、伊江島、古宇利島、水納島、瀬底島、屋我地島、伊計島、津堅島、久高島、渡嘉敷島、座間味島、久米島、渡名喜島、粟国島、宮古島、伊良部島、池間島、下地島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、新城島、西表島、鳩間島、波照間島、与那国島、北小島、北大東島、南大東島	各地で発生が見られる。沖縄島では1992年頃から定着。	(2), (86), (122), (130), (137), (163)	○						区分外		
415		メスアカムラサキ	<i>Hypolimnas missippus</i>	(○)	(○)	(○)	(○)	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、古宇利島、伊江島、水納島、瀬底島、伊計島、宮城島、浜比嘉島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、久米島、渡名喜島、粟国島、宮古島、伊良部島、池間島、下地島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、由布島、西表島、波照間島、仲ノ神島、与那国島、北大東島、南大東島	毎年各地で発生している。ただし、定着には至っていないと言われている。	(2), (86), (130)	△						区分外		
416		ハイイロタテハモドキ	<i>Junonia atlites</i>				(○)	石垣島、西表島	石垣島で1976年発生、2002年秋に発生(?)。定着有無は不明。	(2), (86), (137)	△						区分外		
417		イワサキタテハモドキ	<i>Junonia hedonia iwaskii</i>	(○)		(○)	○	沖縄島、宮古島、石垣島、竹富島、西表島、与那国島	西表島で1990年、石垣島で2011年発生。石垣島では2015年も継続発生。	(2), (86), (113), (130)	○						区分外		
418		ジャノメタテハモドキ	<i>Junonia lemonias lemonias</i>	(○)			(○)	沖縄島、石垣島、西表島、与那国島	西表島で2001年に発生したが、現況不明。	(2), (86), (130)	△						区分外		
419		アオタテハモドキ	<i>Junonia orithya</i>	○				沖縄島	従来、沖縄島では迷蝶であったが、近年になり定着。沖縄島以外の分布: 硫黄島、伊平屋島、伊是名島、古宇利島、水納島、屋我地島、瀬底島、久高島、渡嘉敷島、座間味島、慶留間島、屋嘉比島、久米島、ナガンヌ島、粟国島、宮古島、伊良部島、下地島、池間島、来間島、水納島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、由布島、新城島、西表島、外離島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島		(130), (137)	○	島嶼間移動				区分外		
420		ウラベニヒョウモン	<i>Phalanta phalantia</i>	(○)			(○)	沖縄島、石垣島、竹富島、黒島、西表島、波照間島、与那国島	沖縄島で1973年発生。石垣島・西表島では1965~1966年、1972年、1977~1983年、1998年、2001~2003年などに発生。定着有無は不明。	(2), (4), (86), (130)	△						区分外		

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報					備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	その他情報			沖縄県における区分	
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】											島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島												
421			キミスジ(リラエ アキミスジ)	<i>Symbrenthia lilaea</i>				(○)	石垣島、小浜島、西表 島、与那国島	与那国島で2007以降発生。石垣 島で2008～2009年に発生。本種 の生態から人為的な持ち込みが 疑われている。定着有無は不 明。	(86), (112), (130), (151)	△							区分外	
422	ジャノメチヨ ウ	シロオビヒカゲ	<i>Lathe europa pavida</i>					○	石垣島、小浜島、西表 島、波照間島、与那国 島	石垣島で1970年代から定着。そ れまでは西表島に分布。	(2), (86), (130)	○		島嶼 間移動					区分外	
423		クロノマチヨ ウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>		○	○		○	沖縄島、慶良間諸島、 伊江島、石垣島、西表 島、与那国島、大東諸 島	沖縄島では1970年代から定着	(2), (86), (130), (136)	○							区分外	
424	シヤクガ	ギンネムエダ シヤク	<i>Macaria abydata</i>		○	○		○	沖縄島、宮古島、石垣 島、波照間島、与那国 島、南大東島	寄主植物ギンネムとともに分布 を拡大。沖縄島では1980年頃に 確認	(141), (143)	○							区分外	
425	ニセハマキ ガ	ソウシジュニセ ハマキ	<i>Imma sp.</i>		○				沖縄島	2000年に沖縄島で確認。 寄主食物ソウシジュとともに侵入 したと考えられている。	(142)	○							区分外	
426	スズメガ	キョウチクトウ スズメ	<i>Daphnis neril</i>		○	○		○	沖縄島、阿嘉島、宮古 島、西表島、与那国 島、南大東島等	キョウチクトウ、ニチニチソウの 害虫 1966年に沖縄島で初確認	(1), (2), (3), (4), (25), (47)	○							区分外	
427	ヒトリモドキ ガ	イチジクヒトリ モドキ	<i>Asota ficus</i>		○	○		○	沖縄島、石垣島、北大 東島、南大東島	1964年に沖縄島・南北大東島で 初確認。 イチジクの害虫。	(2), (90), (166)	○							区分外	
428	ヤガ	マンゴーフサ ヤガ	<i>Chlumetia brevisigna</i>					○	石垣島、西表島	マンゴーの害虫 1992年に石垣島で確認。東南ア ジアからの苗木とともに持ち込ま れた可能性があると考えられて いる。	(1), (2), (3), (4)	○							区分外	
429		オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i>		○	○		○	沖縄島、伊江島、小浜 島、西表島、南大東島	在来の可能性もある。	(2), (4), (144), (145)	○							区分外	
430		シロモンアシブ トクチバ	<i>Macaldenia palumba</i>		○				沖縄島	カンキツ類の害虫 1995年に確認	(3)	○							区分外	
431		ミカンアシブ トクチバ	<i>Parallelia palumba</i>		○				沖縄島	カンキツ類の害虫 1995年に確認	(1)	○							区分外	
432		ホウオウボク クチバ	<i>Pericyma cruegeri</i>		○	○		○	沖縄島、石垣島、宮古 島、南大東島	ホウオウボク等の害虫 1986年に石垣島、1999年に沖縄 島で確認。季節風による自然分 散の可能性はある。	(1), (2), (3), (4), (58)	○							区分外	
433		ニセタマナヤ ガ	<i>Peridroma saucia</i>		○				沖縄島	多種作物の害虫	(2), (4), (95)	○							区分外	

【沖縄県外来種データベース(昆虫類) 24/25】

主な参考文献)

- 沖縄県(2005). 沖縄県の在来の生物に対して悪影響を及ぼす要因. レッドデータおきなわ【動物編】付属資料.
- 東 清二(2002). 増補改訂 琉球列島産昆虫目録. 沖縄生物学会. 沖縄.
- 梅谷献二(2012). 原色図鑑 外来害虫と移入天敵. 全国農村教育協会. 東京.
- 国立研究開発法人 国立環境研究所.侵入生物データベース
- 大城安弘・奥島澄子(1980). タイワンカブトムシ *Oryctes rhinoceros* LINNAEUS (鞘翅目:コガネムシ科) の生態学的研究 第1報 琉球列島における分布及び侵入経路について 沖縄農業, 16(1・2): 15-22
- 川上裕司(1996). ホソナガシンクイの国内における発生事例. 家屋害虫, 18(1): 17-20
- 安田慶次・小濱継雄(1990). 沖縄県におけるイモゾウムシとアリモドキゾウムシの分布. 九病虫研究会報, 36: 123-125
- 金城常雄・嶋田知英・山内昌治(1986). 沖縄県におけるイネミズゾウムシの発生. 九病虫研究会報, 32: 104-109
- 傳田哲郎・佐々木健志・小林峻・伊澤雅子(2016). 特定外来生物セイヨウオオマルハナバチの沖縄県における初記録. Fauna Ryukyuna. 29: 1-4
- 乾偉大・桑原崇・鈴木賀与・川瀬成吾・前潟光弘(2013). 沖縄県八重山諸島で確認されたチョウ類、陸水性魚類、鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 277-298
- 大石毅・上地奈美・藤堂篤・船富敦子・安田慶次(2007). 沖縄県のラン圃場に発生したオオランヒメゾウムシOrchidophilus aterrimus (Waterhouse). 九病虫研究会報. 53: 111-113
- 林長閑(1998). ムネミゾクヌストモドキの幼虫形態(甲虫目:ゴミムシダマシ科). 家屋害虫. 20(2): 86-88
- 小林彩・永山敦士・新垣則雄(2006). さとうきびを加害する侵入害虫クロテンオオメコガの紹介. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 50: 93
- 大野豪・丸山宗利・上里卓己・宇久田理恵・貴島圭介・喜久村智子・佐渡山安常(2011). 沖縄本島やんばる地域のカンキツ園におけるカタボシtentウとダンダラtentウの成虫個体数の季節的変動. 昆虫 14(3): 187-192
- 榎原寛(2014). 人工林の増加により分布拡大をした2種の昆虫. 海外の森林と林業, 90: 40-44
- Hiroataka Tanaka・Takumi Uesato (2012). New records of some potential pest mealybugs (Hemiptera: Coccoidea: Pseudococcidae) in Japan. Appl Entomol Zool, 47(4): 413-419
- 吉武啓・上地奈美・平野幸彦(2010). 台湾からの移入種ゲットウトゲムネサルゾウムシ(コウチュウ目:ゾウムシ科)の沖縄島における分布状況について. 甲虫ニュース, 171: 1-3
- Susumu Nakano・Haruo Katakurai(1999). Morphology and biology of a phytophagous ladybir dbeetle Epilachna pusillanima (Coleoptera: Coccinellodae) newly recorded on Ishigaki Island, the Ryukyus. Appl. Entomol. Zool, 34: 189-194
- 木村正明(1997). 1995年6月、尖閣諸島北小島の昆虫(2). 琉球の昆虫, 17: 38
- 杉本雅志(1997). 与那国島で私が確認している直翅系昆虫(1). 琉球の昆虫, 17: 39
- 長嶺邦雄(2005). 南大東島の蝶(2004.1～2005.3). 琉球の昆虫, 26: 1-12
- 長嶺邦雄(2005). 波照間島から未記録のゴキブリ3種. 琉球の昆虫, 27: 18
- 楠井喜久・野林千枝(2006). 古宇利島と屋我地島の半日採集の記録. 琉球の昆虫, 30: 49-50
- 後藤健志・藤根誠道(2007). 沖縄島のベニカミキリの記録. 琉球の昆虫, 31: 76
- 富永智(2007). 南大東島産蛾類若干の記録. 琉球の昆虫, 31: 69-71
- 長嶺邦雄(2007). 南大東島の昆虫. 琉球の昆虫, 31: 65-66
- 長嶺邦雄(2008). 伊計島のチョウ. 琉球の昆虫, 32: 97-98
- 長嶺邦雄(2008). 久高島のチョウ・トンボ(2007.10.2). 琉球の昆虫, 32: 97-99
- 楠井喜久(2009). クロマダラソテツシジミの鳩間島の発生記録. 琉球の昆虫, 33: 58
- 長田勝(2010). 糸満市摩文仁のヤエヤマドボタル. 琉球の昆虫, 34: 40
- 北川朝生・須藤正弘・岩瀬晃(2011). 北大東島でクロマダラソテツシジミを採集. 琉球の昆虫, 35: 73
- 比嘉正一(2012). 久米島の蝶(2011). 琉球の昆虫, 36: 109-110
- 田窪亮三(2012). 石垣島での蝶類幼生期の記録. 琉球の昆虫, 36: 51-54
- 青木一幸(2012). ハイロtentウの与那国島での記録. 琉球の昆虫, 36: 27-28
- 小浜継雄(2012). 浜比嘉島で12月に確認した昆虫相. 琉球の昆虫, 36: 1-4
- 三宅武・野林千枝(2013). 沖縄本島で通年採集した昆虫の記録. 琉球の昆虫, 37: 41-55
- 小浜継雄(2014). 沖縄諸島水納島で確認したチョウ. 琉球の昆虫, 38: 63-65
- 小浜継雄(2014). 沖縄諸島粟国島でハイロtentウを採集. 琉球の昆虫, 38: 187-188
- 白井和伸(2014). 沖縄各島未記録のチョウの記録. 琉球の昆虫, 38: 61
- 小浜継雄(2015). 八重山諸島黒島でハイロtentウを採集. 琉球の昆虫, 38: 19
- 小浜継雄(2015). 沖縄諸島津堅島のチョウ 2011-2013の記録. 琉球の昆虫, 39: 196-198
- 小浜継雄(2015). 沖縄諸島伊平屋島・野甫島のチョウ2014年9月の記録. 琉球の昆虫, 39: 206-207
- 小浜継雄(2015). 慶良間諸島座間味島のチョウの記録(2011年6月、2014年11月). 琉球の昆虫, 39: 208-209
- 小浜継雄(2015). 沖縄諸島久高島で確認したチョウの記録(2013年5月). 琉球の昆虫, 39: 211
- 小浜継雄(2015). 沖縄諸島瀬底島のチョウ2014年10月の記録. 琉球の昆虫, 39: 211-213
- 小浜継雄(2015). 粟国島のチョウの記録-2012年6月・2013年6月. 琉球の昆虫, 39: 194-196
- 砂川博秋(2015). 宮古島でのキョウチクトウスズメの記録. 琉球の昆虫, 39: 85
- 榎戸良裕(2015). 2014年までの、タイワンヤツボシハンミョウの確認地点. 琉球の昆虫, 39: 45-46
- 白井和伸(2015). 沖縄各島未記録のチョウの記録. 琉球の昆虫, 39: 61
- 長嶺邦雄(2015). 渡嘉敷島のチョウ・トンボ・セミ(2014). 琉球の昆虫, 39: 129-130
- 佐々木健志・山城照久・村山望(2009). 沖縄の鳴く虫. 新星出版. 沖縄
- 杉本雅志(2016). 沖縄島における侵入種タイワンカヤヒバリの近況. 琉球の昆虫, 40: 128-129
- 酒井香(2003). ハイロハナムグリの同属の移入種を採集. 甲虫ニュース, 158: 7
- 野林千枝(2004). 沖縄島でハイロハナムグ리를採集. 鯉角通信, 8: 14
- 佐藤正孝・高木真人(2006). 石垣島で採集されたオキナフハンミョウ (甲虫目), それに伴う琉球列島での種の移動と生態系攪乱. 甲虫ニュース, 154: 17-18
- 田中稔(2007). 沖縄本島でオオクロカミキリと同属の移入種を採集. 甲虫ニュース, 158: 7
- 山本周平・伊藤玲央(2009). 西表島に侵入したシバオサゾウムシ. 甲虫ニュース, 168: 8
- 後藤健志・佐々木健志(2013). 南大東島におけるホウオウボクチバの初記録 . 沖縄生物学会誌, 51: 79-82
- 小林峻・傳田哲郎・伊澤雅子(2011). ゲットウトゲムネサルゾウムシ*Xenysmoderes consularis* (コウチュウ目:ゾウムシ科:サルゾウムシ亜科)の琉球列島における分布. 沖縄生物学会誌, 49: 77-83
- 大城哲哉(2013). 北中城村で採集されたヨナグニアカアシカタゾウムシの記録. 琉球の昆虫, 37: 69
- 青柳克(2009). 沖縄島で発見されたヨナグニアカアシカタゾウムシの記録. 沖縄生物学会誌, 47: 49-51
- 當間孝子・宮城一郎(1990). 琉球列島に産する蚊の地理的分布. 沖縄生物学会誌, 28: 11-23
- 上杉兼司(1984). 琉球列島の蝶類相 I . 波照間島の蝶類相とその特徴. 沖縄生物学会誌, 22: 47-56
- Tanaka Hiroataka(2012). A New Record of *Saissetia miranda* (Hemiptera, Coccoidea, Coccidae) from Japan. Jpn J syst Ent, 18(1): 15-17
- 田中宏卓(2014). バイナツブルクマルカイガラムシの沖縄島からの記録. 昆虫(ニューシリーズ). 17(2): 88-89
- 田中宏卓(2012). エジプトワタフキカイガラムシの沖縄島からの新分布記録. 昆虫(ニューシリーズ). 15(1): 21-22
- Tanaka Hiroataka・Amano Hiroshi(2006). A New Record of Pulvinaria urbicola Cockerell, 1893 (Hemiptera, Coccidae) from Japan. Jpn J syst Ent, 12(2): 177-181
- 丸山宗利・大野豪(2011). 沖縄県におけるカタボシtentウ*Coelophora inaequalis* (Fabricius, 1775)の記録. 昆虫(ニューシリーズ),14(2):112-115
- 小濱継雄・嵩原建二(2002). 沖縄県の外来昆虫. 沖縄県立博物館紀要, 28: 55-92
- 貴島圭介・上田重文・大野豪・喜久村智子・上宮健吉・大石毅・太郎良和彦・谷口昌弘・坂神たかね・安藤緑樹・二神和靖・上里卓己・兒玉博聖(2011). 琉球諸島におけるタバコナジラミバイオタイプの地理的分布と寄主作物. 日本応用動物昆虫学会誌, 55(1): 9-17
- 貴島圭介・大野豪・菊地(多喜喜)未可・来間美紀・喜久村智子(2013).琉球諸島において2009～2011年に観察されたタバコナジラミバイオタイプQ の分布拡大. 九病虫研究会報, 59: 57-63
- 小濱継雄・上里卓己・清水優子・中村隆文(2004). 与那国島におけるマレーシアミバエの発生(生活史 分布). 日本応用動物昆虫学会大会要旨, 48: 28
- 山崎仁也・松村雅史・吉田和久・カ身恭二・目黒賢児 (2016). 鳩間島・新城(上地)島・黒島の動物相 (FAUNA)－昆虫相を中心に. 鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書. 沖縄県立博物館・美術館
- 比嘉ヨシ子 (1996). 波照間島の土壤動物目録 波照間島総合調査報告書 沖縄県立博物館・美術館, 32-94.
- 奥土晴夫 (2000). 南大東島の自然. ニライ社. 沖縄
- 寺山守・高嶺英恒・久保田敏 (2009). 沖縄のアリ類. 高嶺英恒. 沖縄県
- 大西一志・諏訪部真友子・田中宏卓・儀間朝宣・松井晋(2011).海洋島における外来アリの分布パターンの経時変化と在来鳥類群集への影響評価. プロ・ナトゥーラ・ファンド第20期 助成成果報告書: 105-110
- 環境省(2004).我が国に定着している外来生物のリスト(暫定版). 特定外来生物等専門家会合(第1回)資料3-3.
- 九州沖縄農業研究センター(2002). 南西諸島におけるミカンキジラミとゲッキツの分布. 研究成果情報. http://www.naro.affrc.go.jp/org/karc/seika/kyushu_seika/2001/2001535.html
- 青柳克(2012). 宮古島で確認された日本初記録のハムシ*Lema trivittata*. 月刊むし. 497: 27-28
- 河路掛吾(2012). 西表島で*Lema trivittata*を採集. 月刊むし. 502: 13
- 小島弘昭(2012). ワタの害虫、ワタデオゾウムシ(甲虫目、ゾウムシ科)の日本からの発見とその系統的位置. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 42: 97
- 沖縄防衛局(2012). 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書 資料編「第6章 6.17 陸域動物」(1／28).
- 平野幸彦(2012). トゲムネデオネスイの沖縄からの記録. 神奈川虫報, 178
- 東平地・東清二(1962). 東南アジアより琉球へ輸出される穀物の害虫相. 沖縄農業, 1(1): 52-58
- 福田晴夫・山下秋厚・福田輝彦・江平憲治・二町一成・大坪修一・中峯 浩司・塚田拓(2009). 増補改訂版 . 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方. 株式会社 南方新社. 鹿児島県.
- 亀岡晶子・清野比咲子(2004). カブトムシとクワガタムシの市場調査. トラフィックイーストアジアジャパン.
- 沖縄タイムス(2013). やんばる異変オオクワガタ. 2013年6月21日
- 東清二・金城政勝(1981). 沖縄におけるクワ害虫と桑園の昆虫群集. 沖縄農業, 17(1・2): 7-15
- 東清二(1989). 南大東島の昆虫相に関する若干の考察. 沖縄農業, 24(1・2): 27-39
- 山根正気・幾留秀一・寺山守 (1999). 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会. 札幌市
- 小松謙之・Hong-Kean Ooi・内田 明彦 (2015). 日本本土に定着したと考えられるチャオビゴキブリ*Supella longipalpa* (Fabricius) (Blattodea : Blattellidae), について. 第67回日本衛生動物学会 東日本支部大会プログラム・口演要旨
- 川井信矢・堀繁久・河原正和・稲垣政志 (2008). 日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群(普及版). 昆虫文献 六本脚.
- 酒井香・藤岡昌介(2007). 日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群 I. 昆虫文献 六本脚.
- 駒井古実・吉安裕・那須義次・斉藤寿久編(2011). 日本の隣翅類 系統と多様性. 東海大学出版会
- 大林 延夫・新里達也 (2007). 日本産カミキリムシ. 東海大学出版会
- 榎原寛 (2014). 移動する森林昆虫類(2) 小笠原諸島のカミキリムシ類(続) タマムシ類. 海外の森林と林業, 89: 56-60
- 平野幸彦 (2009). 日本産ヒラタムシ上科図説 第1巻ヒメキノコムシ科・ネスイムシ科・チビヒラタムシ科. 昆虫文献 六本脚. 東京都
- 平野幸彦 (2010). 日本産ヒラタムシ上科図説 第2巻ホソヒラタムシ科・キスイモドキ科・ムクゲキスイムシ科. 昆虫文献 六本脚. 東京都
- 小浜 継雄 (2014). 沖縄島に侵入したナスミバエ：発生経緯と防除対策および今後の課題. 沖縄県農業研究センター研究報告, 8: 1-18
- (101) 渡辺賢一・焼田理一郎・小浜継雄 (2007). 沖縄のトンボ図鑑. いかだ社. 東京都
- (102) 杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司 (1999). 原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑. 北海道大学図書刊行会. 北海道
- (103) 楠井善久・楠井陽子 (2014). 沖縄島に侵入した外来種のセマダラコガネの定着に関する調査 1. 那覇市新都心公園における2013年の記録. 鯉角通信, 28: 57-59
- (104) 楠井善久 (2013). ハイロハナムグリの八重山諸島における分布地拡散と食性について. 鯉角通信, 26: 53-56
- (105) 戸田尚希 (2006). 石垣島のセマダラコガネの記録. 鯉角通信, 13: 31
- (106) 小幡幸正 (2006). 石垣島で採集した日本初記録のエンマコガネについて. 鯉角通信, 13: 17-18
- (107) 藤岡昌介 (2010). この10年間の日本産コガネムシ上科について. 鯉角通信, 21: 3-13
- (108) 稲田悟司 (2010). 南大東島におけるヤエヤマニセツツマグソコガネの採集記録. 鯉角通信, 21: 111
- (109) 河原正和・西野洋樹・川井信矢 (2008). 南西諸島におけるニセツツマグソコガネ属について. 鯉角通信, 16: 41-42
- (110) 長瀬正義 (2015). 石垣島でアマダtentウを採集. 月刊むし 538: 14

【沖縄県外来種データベース(昆虫類) 25/25】

- (111) 小浜継雄 (2015). 沖縄諸島伊是名島でハイロテントウを採集. 月刊むし 538; 32
- (112) 菅原春良 (2009). 2006年～2009年の先島諸島の迷蝶. 月刊むし 465; 14-27
- (113) 矢後勝也 (2016). 2015年の昆虫界をふりかえって 蝶界. 月刊むし 543; 2-21
- (114) 齋藤琢巳 (2015). 石垣島における*Pharoscyrnus*属のテントウムシの記録. 月刊むし 529; 52
- (115) 南 雅之・宮本敏行 (2015). *Lema trivittata* (ミスジクビボソハムシ)の日本からの追加記録. 月刊むし 529; 56
- (116) 玉城康高・松村雅史 (2015). 沖縄島におけるインドムツボシタマムシの発生状況. 月刊むし 527; 38-39
- (117) 秋田勝己・河合秀樹 (2012). 西表島で採集された外来種ツヤケシオオゴミムシダマシ. 月刊むし 501; 46
- (118) 松村雅史 (2015). 2014年 新城島、黒島における鞘翅目の記録. 琉球の昆虫, 39; 25-28
- (119) 松本重陽 (2014). 沖縄本島北部におけるホリイコシジミの記録. 琉球の昆虫, 38; 51-52
- (120) 新田敦子 (2014). 2013年、本部町水納島でホリイコシジミを採集. 琉球の昆虫, 38; 53
- (121) 長嶺邦雄 (2014). 渡嘉敷島の蝶(2013). 琉球の昆虫, 38; 62-63
- (122) 小浜継雄 (2014). 沖縄諸島水納島で確認したチョウ(2013年). 琉球の昆虫, 38; 63-65
- (123) 長嶺邦雄 (2014). 蝶の幼生期の記録(2013年). 琉球の昆虫, 38; 119-122
- (124) 焼田理一郎 (2014). 石垣島でのスナアカネ(ヤゴ)の採集記録と羽化の記録. 琉球の昆虫, 38; 163
- (125) 小浜継雄 (2014). 沖縄諸島久高島でコモンヒメハネヒロトンボを採集. 琉球の昆虫, 38; 165
- (126) 小浜継雄 (2014). 沖縄諸島粟国島のトンボ相. 琉球の昆虫, 38; 166-168
- (127) 小浜継雄 (2014). 沖縄諸島津堅島でベニトンボを採集. 琉球の昆虫, 38; 168
- (128) 小浜継雄 (2012). 沖縄諸島津堅島でコモンヒメハネヒロトンボを採集. 琉球の昆虫, 36; 29
- (129) 長田勝 (2014). 再び糸満市摩文仁でヤエヤママドボタルを採集. 琉球の昆虫, 38; 183
- (130) 比嘉正一・長嶺邦雄 (2013). 沖縄県の蝶-記録された島と食草-. 沖縄昆虫同好会創立50周年記念誌. 西原町
- (131) 佐藤文保 (2005). 久米島で新たに発見された昆虫類. 久米島自然文化センター紀要, 5; 47-52
- (132) 佐藤文保 (2005). 久米島に侵入した自然界のエイリアン(移入種)の記録. 久米島自然文化センター紀要, 5; 27-35
- (133) 岡島秀治・荒谷邦雄 (2012). 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 株式会社学研出版, 東京都
- (134) 佐藤仁彦 (2009). 生活害虫の事典 普及版. 朝倉書店, 東京都
- (135) 加納六郎・篠永 哲 (2003). 新版 日本の有害節足動物—生態と環境変化に伴う変遷. 東海大学出版会, 神奈川県
- (136) 白水隆 (2006). 日本産蝶類標準図鑑. 学習教育出版, 東京都
- (137) 日本チョウ類保全協会 (2012). フィールドガイド日本のチョウ. 誠文堂新光社, 東京都
- (138) 榎原 寛 (2005). 宮古島に侵入したカミキリムシ類(1). 森林防疫, 54 : 167-176.
- (139) 榎原 寛 (2006). 宮古島に侵入したカミキリムシ類(2). 森林防疫 55(5); 103-105
- (140) 川村 太 (2001). 侵入害虫ドウガネブイブイ*Anomala cuprea* Arrow (Coleoptera : Scarabaeidae)の沖縄島における分布状況. 沖縄県農業試験場研究報告 23; 61-63
- (141) 長田庸平 (2015). ギンネムエダシヤクを波照間島で採集. 蛾類通信 274; 602
- (142) 富永 智 (2012). 種不明のソウシジュニセハマキ(新称)の沖縄からの報告. 蛾類通信 264; 341-343
- (143) 木村 正明 (2012). 与那国島の蛾類. 蛾類通信 264; 357-361
- (144) 東 清二 (2005). 沖縄・伊江島の蛾類. 蛾類通信 232; 135-137
- (145) 東 清二 (2004). 八重山小浜島の蛾類. 蛾類通信 227; 35-37
- (146) 山中 浩 (2000). 沖縄本島で採集されたヤハズカズラノメイガ(新称). 蛾類通信 210; 181-183
- (147) 金井賢一 (2008). クロボシセサリの侵入・定着・安定に関する考察. やどりが 217; 59-64
- (148) 福田晴夫 (2012). 1950年以降に南西諸島を北上したチョウ類[1]. やどりが 232; 16-33
- (149) 円谷悦造 (2012). 石垣島でヤハズカズラノメイガを採集. やどりが 233; 46
- (150) 広渡俊哉・松井 晋・高木昌興・那須義次・上田恵介 (2012). 南大東島のモズの自然巣から羽化した鱗翅類. 蝶と蛾, 63(3); 107-115
- (151) 斉藤 光太郎 (2009). 八重山で採集されたキミズジの飛来源の推測. やどりが, 219; 2-8
- (152) 寺山 守・久保田 敏・江口克之 (2014). 日本産アリ類図鑑. 朝倉書店, 東京都
- (153) 近藤勇介・中 秀司・土田浩治 (2012). 石垣島におけるムラマツカノコ*Syntomoides imaon*の侵入と定着. やどりが, 232; 50-51
- (154) 上里 卓己・新垣則雄 (2008). 沖縄県宮古群島に侵入したシロスジオサゾウムシ*Rhabdoscelus similis* (Chevrolat) の発生状況. 九病虫研究会報, 54; 127-131
- (155) 比嘉ヨシ子(1973). 沖縄における食品害虫の研究 1 食品害虫目録について. 衛生環境研究所報, 7; 80-88
- (156) 岸本高男・比嘉ヨシ子(1986). 沖縄の衛生害虫. 新星図書出版. 那覇市
- (157) 比嘉ヨシ子(1974). 沖縄における食品害虫の研究 2、市街地域の菓子害虫相について. 衛生環境研究所報, 8; 116-122
- (158) Suguru Ohno・Yu Tamura・Dai Haraguchi・Tsuguo Kohama (2008). First detection of the pest fruit fly, *Bactrocera tau* (Diptera: Tephritidae), the field in Japan: Evidence of multiple invasions of Ishigaki Island and failure of colonization. Japan Entomol Zoo, 43 (4); 541-545
- (159) Suguru Ohno・Yu Tamura (2008). First detection of the fruit fly *Bactrocera synnepthes* (Diptera: Tephritidae) on Iriomote Island, south-western Japan Entomol Soc, 11; 105-110.
- (160) 比嘉由紀子・當間孝子・岡村智子・寺田千春・宮城一郎・新城安哲・小野寺 至 (2004). 沖縄県におけるネットアイシマカの侵入の有無及びヒトスジシマカの産卵消長に同する調査. 衛生動物 55(Supplement); 47
- (161) 町田龍一郎 (2016). 日本産直翅類標準図鑑. 株式会社学研プラス 東京都.
- (162) 山田量崇 (2015). 外来陸生カメムシ. 昆虫と自然, 50 (6);12-15
- (163) 木村正明 (2011). 尖閣諸島の昆虫. 昆虫と自然, 46 (8);18-22
- (164) 高須啓志・高野俊一郎・山下 藍 (2009). 侵入害虫キムネクロナガハムシの生活史と日本本土への侵入可能性. 昆虫と自然, 44 (12); 5-8
- (165) 松沢孝晋 (2008). 熱帯から温帯に北上しているトンボの最近の動向. 昆虫と自然, 43 (12); 4-8
- (166) 占部 晋一郎(2008). 亜熱帯性の蛾イチジクヒトリモドキの兵庫県姫路市における発生状況. 共生のひろば, 3; 64-69
- (167) 榎原 寛 (2007). 大東諸島のカミキリムシ相. 昆虫と自然, 42 (6); 34-37
- (168) 宮武頼夫 (2005). 半翅類における外来種の現状. 昆虫と自然, 40 (12); 4-6
- (169) 高良鉄夫・東 清二 (1974). タイ国から導入したバツタタマゴヤドリバチが南大東島で定着す. 沖縄農業, 12(1-2); 36
- (170) 小島弘昭・藤澤侑典 (2012). 宮古島およびその周辺離島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, 8; 11-14
- (171) 小島弘昭・藤澤侑典 (2012). 宮古諸島多良間島および水納島で採集されたゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, 8; 15-16
- (172) 榎原 寛・吉武 啓 (2014). 沖縄島で採集されたシロスジカミキリ. さやばねニューシリーズ, 15; 4-5
- (173) 亀澤 洋 (2014). 沖縄島にも侵入しているアフリカヒラタキクイムシ. さやばねニューシリーズ, 15; 27
- (174) 今坂正一・石関 博 (2012). サツマイモヒサゴトビハムシのエンサイへの加害, および国内における分布と単為生殖個体群の存在について. さやばねニューシリーズ, 5; 18-21
- (175) 大平仁夫 (2011). 栗原桂一・春江夫妻の採集品に基づくコメツキムシ類の記録(2)-石垣島・西表島-. さやばねニューシリーズ, 4; 17-18
- (176) 石垣市 (2016). 石垣市希少野生動植物保全種及び保護地区の指定(素案), 4.3 昆虫類; 13-43
- (177) 小高信彦(2010). 外来種セイヨウミツバチによるノグテゲラの古巣利用. 森林総合研究所九州支所 平成22年版「年報」. p.24.

備考)
 個体群の自然分布拡大により飛来した「侵入種」を含む可能性がある。